FUJIFILM

BL01600-101 JA

DIGITAL CAMERA

X10

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ X10 および付属のソフトウェアの使い方がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1
箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

2
カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（→ 125 ページ）をお読みください。

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■付属品一覧

- 充電式バッテリー NP-50（1 個）

- バッテリーチャージャー BC-45W（1 式）

- レンズキャップ（1 式）

- 専用 USB ケーブル（1 本）

- ストラップリング（2 個）

- ストラップリング取り付け補助具（1 個）

- CD-ROM（1 枚）

- ストラップリングカバー（2 枚）
- ショルダーストラップ（1 本）
- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

目次 ➡ P.4

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

警告表示 ➡ P.141

画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。

索引 ➡ P.155

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

トラブルシューティング /FAQ ➡ P.130

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

各撮影モードで使用できる機能について ➡ P.146

撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

カメラのお手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようにお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などでふきとってください。

本書で使われている記号について

[!]：カメラを使用するとき、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

☛：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

[メモ]：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

画面のイラストについて

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。

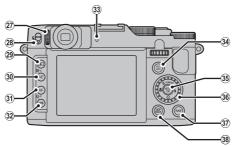
目次

はじめに

各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

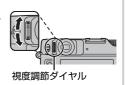
No.	名称	ページ
1	シャッターボタン	28
2	露出補正ダイヤル	52
3	モードダイヤル	31
4	マイク（L/R）	77
5	ホットシュー	99、121
6	光学ビューファインダー（OVF）	12
7	フラッシュ	45
8	ストラップ取り付け部	14
9	フォーカスモード切換レバー	54
10	ズームリング	27
	電源スイッチ	23
11	レンズ	129
12	AF 補助光ランプ	117
	セルフタイマーランプ	47
13	**Fn**（ファンクション）ボタン	61
14	バッテリー取り外しつまみ	18、20
15	メモリーカードスロット	19
16	バッテリー挿入部	18
17	メインコマンドダイヤル	10
18	端子カバー	79、86、88
19	DC カプラーカバー	122
20	バッテリーカバーロック	18
21	バッテリーカバー	18
22	スピーカー	78、109
23	三脚用ねじ穴	
24	液晶モニター（LCD）	11
25	USB・A/V OUT（音声／映像出力）兼用端子	79、86、88
26	HDMI Mini Connector	79

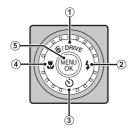
使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

27 視度調節ダイヤル............................9
28 ϟ（フラッシュポップアップ）スイッチ..45
29 ▶（再生）ボタン................23、30
30 **AE** ボタン..53
🔍（拡大）ボタン..........................67
31 **AF** ボタン..56
🔍（縮小）ボタン..........................67
32 **WB** ボタン.......................................59
33 インジケーターランプ...................29
34 **AFL/AEL**（AF ロック /AE ロック）ボタン..................................43、56
35 セレクターボタン（▲、▼、◀、▶、**MENU/OK**）......................................10
36 サブコマンドダイヤル...................10
37 **RAW** ボタン....................................65
38 **DISP/BACK**（表示 / 戻る）ボタン...12、29

視度調節ダイヤルについて

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。

視度調節ダイヤル

はじめに

セレクターボタン

セレクターボタンは、上下左右（▲、▼、◀、▶）のボタンと中央にある **MENU**（メニュー）/**OK** ボタンを押して操作します。

① **上に移動**
DRIVE ボタン（P.48）/
🗑（消去）ボタン（P.30）

② **右に移動**
⚡（フラッシュ）ボタン（P.45）

③ **下に移動**
⏲（セルフタイマー）ボタン（P.47）

④ **左に移動**
🌷（マクロ）ボタン（P.44）

⑤ **MENU**（メニュー）/**OK** ボタン（P.94、102、112）

メインコマンドダイヤル / サブコマンドダイヤル

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルを回転させて、絞り値やシャッタースピードを変えたり、セレクターボタンの代わりに項目を選択したりできます。サブコマンドダイヤルではフォーカスの調整もできます。

メインコマンドダイヤル　サブコマンドダイヤル

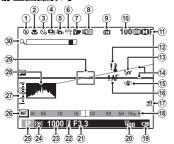
メインコマンドダイヤルは、中央部を押すことで、**M** モードでの設定項目切り換えなどができます。

撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に 🔒 が表示され、セレクターボタンの上下左右に割り当てられている機能（**DRIVE**/ フラッシュ / セルフタイマー / マクロ）と **RAW** ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

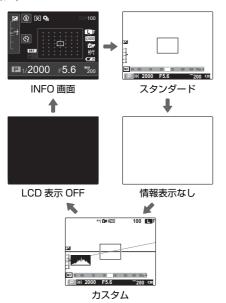
■ 静止画撮影時

* IN はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

■ 再生時

■ 液晶モニターの表示切り換え

DISP/BACK ボタンを押すごとに、液晶モニターの表示が切り換わります。

- 撮影時

!

INFO 画面または LCD 表示 OFF のとき、カメラの操作によっては、スタンダードに切り替わることがあります。

カスタム表示について

撮影メニューの **カスタム撮影画面**（→ 100 ページ）で表示したい項目を選択できます。

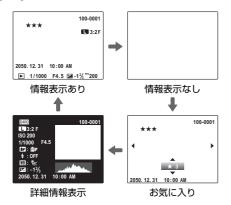
光学ファインダー（OVF）について

光学ファインダーには以下の特徴があります。

- 被写体をクリアに見ることができ、見ているそのままの瞬間を写せます。
- 被写体がボケないので、いつでも表情を確認できます。

!

- 情報表示は一切表示されません。
- ファインダーとレンズが別の場所についているため視差（パララックス）が発生し、ファインダーで見た構図と若干異なって撮影されることがあります。
- ファインダーの視野率は約 85% です（縦横比が 4:3 の場合）。
- ズーム位置によっては、レンズの一部がファインダー内に見えることがあります。

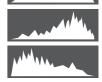
• 再生時

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。

ピクセル
明るさ
シャドー
ハイライト

適正露出の場合：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。

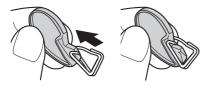
露出オーバーの場合：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。

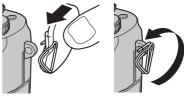
露出アンダーの場合：シャドーのピクセル数が多く、左に偏ります。

被写体によってグラフ形状は異なります。

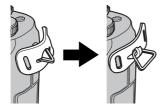
はじめに

ストラップの取り付け方

カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

1 ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。

ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外す時も使用しますので、大切に保管してください。

2 ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。

3 ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。

4 ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

反対側も同様に、手順 1 ～ 4 を繰り返して取り付けます。

5 ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。

6 ストラップを止め具に通します。

反対側も同様に、手順 5 ～ 6 を繰り返して取り付けます。

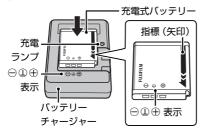
ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

- **お客様がお使いのバッテリーは NP-50 です。**
- **充電時間については、154 ページをご確認ください。**

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

⊖⊥⊕ 表示にしたがって、下図の方向で正しくセットしてください。

2 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対 処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

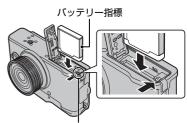
- 同梱されているバッテリーチャージャーは電源電圧（100 ～ 240V）電源周波数（50/60Hz）の地域で使用できます。ただし、地域により電源コンセント形状が異なりますので必要に応じ、あらかじめ最適な変換プラグアダプターの安全性をお確かめの上ご用意ください。詳しくは旅行代理店などにご相談ください。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」(→ 125 ページ) を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

バッテリーとメモリーカードを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

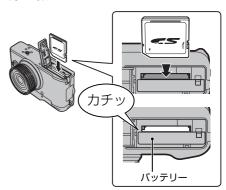
1 バッテリーカバーを開けます。

2 バッテリーを入れます。

- 金色の端子を下にして、カメラのバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）にバッテリーのバッテリー指標（オレンジ色）を合わせます。

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）で固定されていることを確認してください。

- **バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。**
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損する恐れがあります。正しい向きで挿入してください。

3 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（IN と画面に表示されます）に記録されます。

4 バッテリーカバーを閉めます。

☛

- このカメラは、別売のACパワーアダプターとDCカプラーと組み合わせて電源を供給することもできます。使い方については、それぞれに付属の使用説明書を参照してください。
- 仕向け国によっては AC パワーアダプターで電源供給時、電源をオンにするとデモモードになり、静止画や動画が再生されます。キャンセルする場合はシャッターボタンを押してください。

バッテリー / メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。

- **バッテリーを取り出す**

  バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

バッテリー取り外しつまみ

- **メモリーカードを取り出す**

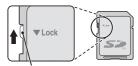
  メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

!

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

■ 使用可能なメモリーカード

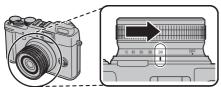
- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- HD 動画、ハイスピード動画を撮影するときは、CLASS④ 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

- **メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。**
- SD/SDHC/SDXC メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

書き込み禁止スイッチ

- 未使用の SD/SDHC/SDXC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC/SDXC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (→ 113 ページ) してからご使用ください。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

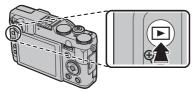
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。

電源をオンにする / オフにする

ズームリングを図の位置まで回すと、電源がオンになります。OFF に合わせると、電源がオフになります。

撮影と再生の切り換え

- 撮影中に ▶（再生）ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを押すか、または ▶（再生）ボタンを押すと、撮影モードになります。

再生モードで電源をオンにするには

▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

再生中に ▶（再生）ボタンを押すと電源がオフになります。

再生モードで電源をオンにした場合は、シャッターボタンを押しても撮影モードになりません。

自動電源 OFF

一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **自動電源 OFF**（→ 115 ページ）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。電源を入れ直すには、いったんズームリングを OFF に合わせ、再度電源をオンにします。

- レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。
- ズームリングをオンとオフの間で止めたままにすると、バッテリーを消費します。

■ バッテリー残量

表 示	意 味
（白点灯）	バッテリーの残量は十分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを充電してください。

温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください（→ 141 ページ）。

使用する言語と日時を設定する

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語や日時などが設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

☛
言語や日時の設定をやり直したい場合は、「セットアップメニューの使い方」（→ 112 ページ）で **日時設定**または **言語 /LANG.** を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

1 電源をオンにします。
言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
言語が設定され、日時設定画面が表示されます。

3 年月日の並び順を設定します。
▲▼ で年月日の並び順を選びます。

4 年、月、日、時、分を設定します。
◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
日時が設定され、パフォーマンス設定画面が表示されます。

6 パフォーマンス設定を選びます。
節電：消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。
モニターパワーアップ：液晶モニターが明るくなり、なめらかで見やすい表示になります。

7 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定が終了して、撮影を開始できます。

カメラの時計

バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

1 カメラの電源をオンにして、モードダイヤルを **EXR** に合わせると、EXR AUTO の撮影画面が表示されます。

シーンアイコン
カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。

アイコン
カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。

シャッターボタン半押し時に、優先される EXR モードアイコンが表示されます（→ 36 ページ）。

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

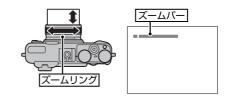
- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

3 構図を決めます。

ズームリングを回して、構図を調整します。

ズームを使うには

ズームリングを回すと、ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。ズーム操作中は、画面にズームバーが表示されます。

4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、インジケーターランプが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

赤色の AF フレームと **!AF** が画面に表示され、インジケーターランプが緑色点滅します。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください（→ 42 ページ）。

☛

シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

写真が撮影されます。

シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指をはなさずにさらに深く押し込む（全押しする）と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。

☛

- 暗い被写体のピントを合わせやすくするためシャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光が発光しないように設定を変更できます（→ 117 ページ）。
- 暗い場所ではフラッシュを使って撮影できます。フラッシュポップアップスイッチをスライドすると、フラッシュがポップアップします（→ 45 ページ）。

EXR AUTO（プレミアム EXR オート）で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください（→ 23 ページ）。

マナーモード

シャッター音などを避けたい状況での撮影には「マナーモード」を使います。マナーモードは、**DISP/BACK** ボタンを長押しして設定します。

マナーモードに設定すると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり（**SP** の 🄝⚡ を除く）、操作音やシャッター音、動画やボイスメモの再生音が OFF になります。セルフタイマーランプも発光しません。

- マナーモードに設定すると、画面に OFF が表示されます。
- もう一度 **DISP/BACK** ボタンを長押しすると、マナーモードが解除されます。
- **操作音量**（→ 115 ページ）、**シャッター音量**（→ 115 ページ）、**再生音量**（→ 115 ページ）を変更したいときは、まずマナーモードを解除してください。
- 動画やボイスメモ再生中は、マナーモードを変更することはできません。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅（早い）	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
橙色点滅（遅い）	ズームリングが ON と OFF の間にセットされています（撮影はできません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

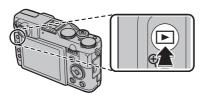
警告表示について

画面にも、警告表示が表示されます。詳細は 141 ページを参照してください。

撮影した画像を見る

撮影した写真は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

1 ▶（再生）ボタンを押します。

最後に撮影した画像が液晶モニターいっぱいに表示されます。

2 ◀ または ▶ を押して、見たい画像を選びます。

◀：前の画像が表示されます。

▶：次の画像が表示されます。

☛

シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

不要な画像を消去するには

消去したい画像が表示されているときに、🗑（消去）ボタンを押します。

消去について

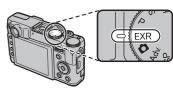
メニュー操作でも画像を消去できます（→ 69 ページ）。

基本的な撮影と再生

モードを切り換えて撮影する

モードダイヤルで撮影モードを切り換える

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせます。

■ **P、S、A、M モード**
シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます（→ 32 ページ）。

■ **EXR**
優先する画質の指標を選んで撮影できます。カメラが撮影シーンに合わせて、自動で最適な状態を設定するオートモードも選べます（→ 36 ページ）。

■ **C1/C2 カスタムモード**
P、S、A、M モード、**EXR**（HR、SN、DR）モードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を読み出せます（→ 35 ページ）。

■ **（オート）**
カメラまかせの簡単操作できれいな写真が撮影できます（→ 38 ページ）。

■ **（動画）**
音声付きの動画を撮影できます（→ 76 ページ）。

■ **Adv.（アドバンストモード）**
高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます（→ 38 ページ）。

■ **SP（シーンポジション）**
いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションから選択できます（→ 41 ページ）。

P S A M C1 C2 EXR Adv. SP

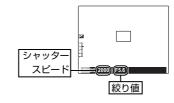
P プログラム

P プログラムでは、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

モードダイヤルを **P** に合わせます。

被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「----」と表示されます。その場合は、シャッターボタンを半押しして測光し直してください。

プログラムシフトの設定

メインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組合わせを変えることができます。

- プログラムシフトは、次のときに設定できます。
  - 内蔵フラッシュをポップアップしていないとき
  - ISO **感度**が **AUTO** 以外に設定されているとき
  - D-Rng **ダイナミックレンジ**が **AUTO** 以外に設定されているとき
  - **外部フラッシュ**の設定が **OFF** のとき
- プログラムシフトは、次のときに自動解除されます。
  - 電源がオフになったとき
  - フラッシュをポップアップしたとき

S シャッター優先

S シャッター優先では、自分で選んだシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

モードダイヤルを **S** に合わせます。

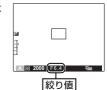
メインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。

- 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。その場合はシャッタースピードを設定し直してください。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「F---」と表示されます。その場合はシャッターボタンを半押しして測光し直してください。
- ISO 感度の設定によっては、シャッタースピードの設定に制限があります。

A 絞り優先

A 絞り優先では、絞りを設定できます。設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

モードダイヤルを **A** に合わせます。

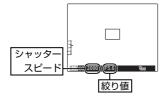
メインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルを回して、絞り値を設定します。

- 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。その場合は絞り値を設定し直してください。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「----」と表示されます。その場合はシャッターボタンを半押しして測光し直してください。

M マニュアル

M マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。

モードダイヤルを **M** に合わせます。

メインコマンドダイヤルを回して、絞り値とシャッタースピードを設定します。設定する項目を切り替えるには、メインコマンドダイヤルを押します。

☛

メインコマンドダイヤルで設定できる項目には、◀ ▶ マークが付きます。

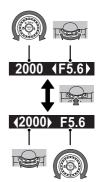
⚠

- 長時間露光したときは、画像に点状のノイズが発生することがあります。
- ISO 感度の設定によっては、シャッタースピードの設定に制限があります。

サブコマンドダイヤルについて

フォーカスモード（→ 54 ページ）が **MF** 以外のときは、シャッタースピードや絞り値の設定にサブコマンドダイヤルも使用できます。

☛

- サブコマンドダイヤルで設定できるのは、◀ ▶ マークが付いていない項目です。
- メインコマンドダイヤルを押すと、設定できる項目が切り換わります。

露出インジケーターについて

M マニュアルでは、常に露出インジケーターが表示されます。

C1/C2 カスタム

P、**S**、**A**、**M** モード、EXR（、、）モードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を呼び出せます。設定は、撮影メニューの **カスタムモード保存**で保存します。

モードダイヤルを **C1/C2** に合わせます。

C1/C2 カスタムモードの保存について

撮影メニューの **カスタムモード保存**で、現在、設定されている撮影条件を保存できます。
保存できる撮影条件は次のとおりです。

■ **撮影メニュー**

- 感度
- 画質モード
- フィルムシミュレーション
- カラー
- ハイライトトーン
- シャープネス
- 顔キレイナビ
- AF モード
- フラッシュ
- 画像サイズ
- ダイナミックレンジ
- WB シフト
- シャドウトーン
- ノイズリダクション
- 個人認識設定
- 外部フラッシュ
- 超解像ズーム

■ **セットアップメニュー**

- AF 補助光
- RAW

■ **その他（ボタン）**

- ホワイトバランス（**WB**）
- 連写（**DRIVE**）
- フラッシュ（）
- 測光モード（**AE**）
- マクロ（）
- 画面表示切り換え（**DISP/BACK**）
- プログラムシフト
- シャッタースピード
- 絞り

超解像ズームの設定は、電源を切ると **OFF** に戻ります。

EXR（プレミアム EXR オート / EXR 優先モード）

シーンに最適な EXR モードをカメラ任せで設定したい場合や優先する画質の指標を選んで撮影したい場合に使います。

モードダイヤルを EXR に合わせます。表示されるメニューから、使用する EXR モードを選んでください。

プレミアム EXR オート

被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンと最適な EXR モードを設定します。

画像サイズを AUTO に設定すると、記録画像は、自動的に適切なサイズで保存されます。

被写体 ＼ 背景		AUTO	風景	夜景	マクロ	ビーチ	夕焼け	スノー	青空	緑	青空 & 緑
人物以外				*							
人物	順光			*	—						
	逆光			—	—						
動き											
人物 & 動き	順光				—						
	逆光			—	—						

* （インテリジェントブレ防止）が表示されたときは、連写撮影を行います（→ 37 ページ）。

シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、撮影モードを （オート）にするか（→ 38 ページ）、SP にして適切なシーンポジションを選択してください（→ 41 ページ）。

インテリジェントブレ防止について

が表示されたときは自動的に連写し、1 枚の画像に合成します。撮影時の手ブレを抑え、高感度でもノイズの少ない写真を撮影できます。

は、次のときに有効になります。
- 撮影メニューの設定が **ON** のとき（→ 98 ページ）
- フラッシュの設定がオートまたは発光禁止のとき（→ 45 ページ）

- カメラをしっかり構えて撮影してください。
- 処理に時間がかかる場合があります。
- 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

■ EXR アイコン

シャッターボタン半押し時に、優先される EXR モードアイコンが表示されます。

アイコン	説 明
HR	**高解像度優先**：被写体の細部までくっきりと撮影されます。
SN	**高感度低ノイズ優先**：高感度で撮影したときに発生するノイズが軽減されます。
DR	**ダイナミックレンジ優先**：白とびを抑え、明るい部分の階調まで撮影されます。

EXR 優先モード

EXR 優先モードには、次のモードがあります。用途に応じて、モードを選びます。

モード	説 明
高解像度優先	被写体の細部までくっきりと撮影したいときに選びます。
高感度低ノイズ優先	高感度で撮影したときに発生するノイズを軽減したいときに選びます。
ダイナミックレンジ優先	白とびを抑え、明るい部分の階調まで撮影したいときに選びます。 D-Rng **ダイナミックレンジ**で R1600 **1600%**と R800 **800%**も設定できます（→ 96 ページ）。

モードを切り換えて撮影する

オート

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。

Adv. アドバンストモード

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

モードダイヤルを **Adv.** に合わせます。撮影メニューの **Adv. モード**から、使用するアドバンストモードを選んでください。

ぐるっとパノラマ 360

カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1 枚のパノラマ写真を作成します。

1 焦点距離を調整します。

ズームリングを回して、画面に表示されるズームバーが白色になるよう、焦点距離を調整します (→ 27 ページ)。

2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

▼ を押して撮影画角変更画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する角度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 撮影方向を選びます。

▶ を押して撮影方向選択画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5 矢印方向にカメラを動かします。

矢印方向にカメラをガイドバーの終端までスムーズに動かすと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

ガイドバー

☛

撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が 120 度以下の場合は、パノラマ写真は保存されません。

360 について

撮影画角で 360 を選ぶと、継ぎ目のない 360°のパノラマ写真が撮影できます。360 で撮影したパノラマを再生すると、エンドレスで再生できます（→ 75 ページ）。

☛

セットアップメニューの **処理前画像記録**では、360 のパノラマ写真も同時に記録するように設定できます（→ 119 ページ）。

- 撮影シーンによっては、画像がゆがんだり、合成できないことがあります。
- 合成できないときは、360 のパノラマ写真となります。
- 撮影状態によっては、合成後の画像の上下に白い部分ができる場合があります。
- 360 で撮影する場合、撮影画面に表示されている画像の上下の一部は記録されません。

うまく撮影するには

- 一定の速度で小さな円を描くようにカメラを動かします。
- カメラを地面と平行（水平）に構え、ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。

- 撮影中はズームリングを回さないでください。撮影が中断されます。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。
  設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合は、ぐるっとパノラマ 360 撮影には適していません。
  - 被写体が動いている
  - 被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
  - 波や滝など常に模様が変化する風景
  - 明るさが大きく変動するシーン

ぼかしコントロール

人物や花などの背景をぼかし、被写体を強調して撮影したいときに使用します。シャッターを押すと最大 3 コマ連写し、カメラが自動的にピントを合わせた被写体以外の背景をぼかします。一眼レフカメラで撮影したようなぼけ味のある写真を撮影できます。撮影前にメインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルでぼかしの強度を 3 段階から設定できます。

セットアップメニューの **処理前画像記録**では、**ぼかしコントロール**で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます（→ 119 ページ）。

- 被写体と背景が近づきすぎていると、背景をうまくぼかせないことがあります。フォーカスロック時に「**! 背景をぼかせません**」とメッセージが出たときは、被写体から少し離れて、右方向（望遠）へズームリングを回し調整してください。
- 動いている被写体の場合、ぼかし処理に失敗することがあります。
- ぼかし処理が失敗すると「**! 画像を確認してください**」とメッセージがでます。再度、撮影してください。
- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

連写重ね撮り

暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています。シャッターを押すと連写し、カメラが自動的に 1 枚の画像に合成します。手ブレを抑え、高感度でもノイズが少ない写真を撮影できます。

セットアップメニューの **処理前画像記録**では、**連写重ね撮り**で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます（→ 119 ページ）。

- 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

SP シーンポジション

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

モードダイヤルを **SP** に合わせます。撮影メニューの 📷 シーン選択から、使用するシーンモードを選んでください。

■ シーンポジションの種類

シーン	機 能
高感度2枚撮り	フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。
ナチュラルフォト	暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真を撮影します。
人物	人物の撮影に適しています。
美肌	肌を滑らかに撮影します。
風景	昼間の風景撮影に適しています。
スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
夜景（三脚）	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
花の接写	花に近づいて撮影するときに使用します。
TEXT 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。

AF/AE ロック撮影する

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しし続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 AF フレームを被写体に合わせて半押しします。

☛

シャッターをきる前なら、AF/AE ロックは何度でもやり直せます。

2 半押ししたまま構図を変えます。

3 全押しして撮影します。

オートフォーカスの苦手な被写体について

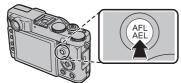
このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。このようなときは、AF/AE ロック機能をお使いください。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 炎や煙などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

AE ロック撮影する /AF ロック撮影する

特定の被写体に露出やピントを固定して撮影したいときに使います。

AE ロック撮影

1 露出を合わせたい被写体を画面中央に表示し、**AFL/AEL** ボタンを押します。
露出が固定されます。

2 **AFL/AEL** ボタンを押したまま構図を変えます。

3 **AFL/AEL** ボタンを押したままシャッターボタンを半押しします。
ピントが固定されます。

シャッターをきる前なら、AE ロックは何度でもやり直せます。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

- AEロック中にズーム操作すると､AEロックが解除されます。
- シャッターボタンを半押しすれば、**AFL/AEL** ボタンをはなしても露出は固定されます。
- AE ロック時のシャッターボタン半押しは、ピント合わせのみ可能です。
- 顔キレイナビを使用しているときは、AE ロックは無効となります。

AF ロック撮影

セットアップメニューの **AE/AF-LOCK 機能選択**を **AF LOCK のみ**にしてから（→ 117 ページ)、「AE ロック撮影」の手順で撮影すると、**AFL/AEL** ボタンを押したときにピントが固定（AF ロック）されます。

- **AE/AF-LOCK 機能選択**を **AE+AF LOCK** にすると、**AFL/AEL** ボタンを押したときは、ピントと露出の両方が固定されます。
- セットアップメニューの **AE/AF-LOCK 設定**を**押下切替**にすると（→ 117 ページ)、**AFL/AEL** ボタンをはなしても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。

近距離撮影する（マクロ / スーパーマクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

（◀）ボタンを何度か押して、マクロモードを設定します。

OFF：OFF
：マクロ
：スーパーマクロ

撮影可能範囲

マクロモードでの撮影可能範囲は以下のとおりです。
- （マクロ）：［広角］約 10cm ～約 3m
  ［望遠］約 50cm ～約 3m
- （スーパーマクロ）：［広角］約 1cm ～約 1m

- INFO 画面または LCD 表示 OFF のときマクロモードにすると、LCD 画面がスタンダード（→ 12 ページ）に切り換わります。
- ボタンを押さなくても自動的に近距離撮影できますが、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- 光学ファインダー（OVF）で撮影すると視差（パララックス）が大きくなるため、LCD を使っての撮影をおすすめします。
- スーパーマクロを設定すると、フラッシュは使用できません。
- スーパーマクロを使う場合は、ズームバーが白色になるようにズームリングを調整してから撮影してください（→ 27 ページ）。
- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影時には、ピントは中央付近に固定されます。
- フラッシュ撮影する場合は、フラッシュの光量を補正してください（→ 99 ページ）。
- 近づいてフラッシュ撮影するとレンズの影が映ることがあります。その場合は少しズームするか離して撮影してください。

いろいろな撮影

ϟ フラッシュ撮影する（スーパー i フラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 フラッシュポップアップスイッチをスライドします。

フラッシュがポップアップします。

2 ϟ（▶）ボタンを何度か押して、フラッシュモードを設定します。

フラッシュ発光禁止

フラッシュを閉じると発光禁止になります。

フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

フラッシュ設定	説 明
AUTO/ AUTO（オートフラッシュ、表示なし）	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
ϟ/ ϟ（強制発光）	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
Sϟ/ SLOW（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に ⚡ が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ブレしやすい状態では、画面に ! が表示されます。フラッシュを使うか、三脚の使用をおすすめします。
- フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- フラッシュが発光すると画像の周辺部が暗くなることがあります。
- 別売のレンズフード装着時はケラレが起こることがあるため、フラッシュ撮影はおすすめできません。

スーパー i フラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「i フラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

顔キレイナビ ON、赤目補正 ON のときのフラッシュ設定について

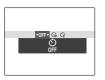
セットアップメニューで**赤目補正**を **ON**（→ 116 ページ）にして、顔キレイナビを **ON** に設定（→ 62 ページ）した場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、AUTO（赤目軽減オートフラッシュ）、⚡（赤目軽減 + 強制発光）、SLOW（赤目スロー）から設定できます。

AUTO（赤目軽減オートフラッシュ）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

セルフタイマー撮影

撮影者を含めた集合写真や、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐための撮影には、セルフタイマーをお使いください。

▼（セルフタイマー）ボタンを押します。

セルフタイマー	説 明
OFF	**OFF**：セルフタイマーを使用しません。
10	**10 秒**：シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後に撮影されます。
2	**2 秒**：シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後に撮影されます。

- （10 秒後撮影）では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
- （2 秒後撮影）では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

連続撮影する（連写 / ブラケティング）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影もできます。

DRIVE ボタン（▲）を押して設定画面を表示させ、▲▼ で連写モードを選びます。

- 📷：1 コマ撮影
- ：連写
- ：前後撮り連写
- ：AE ブラケティング
- ISO：ISO ブラケティング
- ：フィルムシミュレーション BKT（ブラケティング）
- DR：ダイナミックレンジ BKT（ブラケティング）

- ピントと明るさは、1 コマ目を撮影したときに決定されます。
- フラッシュは発光禁止になります。ただし、**📷1 コマ撮影**にすると、連写を設定する前のフラッシュ設定に戻ります。
- 連写速度は、シャッタースピードによって異なります。
- 撮影できる画像の枚数は、内蔵メモリーやメモリーカードの空き容量によって異なります。
- カメラの設定や撮影シーンによっては、連写枚数が少なくなることがあります。
- 見ているそのままの瞬間を写せるので、光学ファインダー（OVF）での撮影をおすすめします。
- 連写速度が **SUPER HIGH** の場合や、前後撮り連写でコマ数が **16** の場合は、画像サイズが M 以下に制限されます（L に設定されている場合は、自動的に M になります）。
- 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。

連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 ◀▶ で連写速度を選びます。

設定	最大速度
SH	10fps
H	7fps
M	5fps
L	3fps

2 MENU/OK ボタンを押して、連写撮影画面に戻ります。

3 撮影します。

シャッターボタンを押している間、連続撮影を行います。

☛

セルフタイマー撮影モードに設定したときは、連写設定を選べません。

前後撮り連写

シャッターボタンを押したときの前後の画像を連続して撮影します。

1 連写撮影画面で、▶ を押して連写設定画面を表示させせます。

2 速度を選び、▶ を押します。

3 ▲▼ で連写速度を選びます。

4 MENU/OK ボタンを押して、連写設定画面に戻ります。

5 コマ数を選び、▶ を押します。

6 コマ数を設定します。

- ▲▼ で総連写コマ数を選びます。
- ◀▶ で前後の連写コマ数を選びます。

☛
撮影する前後の連写コマ数は、左側が全押し前の連写コマ数で、右側が全押し後の連写コマ数です。

7 **MENU/OK** ボタンを押して、連写設定画面に戻ります。

8 **DISP/BACK** ボタンを押して、連写撮影画面に戻ります。

9 撮影します。
シャッターボタンを半押ししたときに前後の連写コマ数で設定した前のコマ数を撮影し、全押ししたときに後のコマ数を撮影します。

!
- 連写速度の設定によっては、表示コマ数が少なくなります。
- シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでに、前のコマ数が設定コマ数に満たないときは、残りのコマ数はすべて後のコマとして撮影されます。
- シャッターボタンを半押しして連写を開始してから一定時間が経過すると、全押ししなくても自動的に撮影されます。

AE ブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。露出を変える範囲は ◀▶ で変更できます。

設定	説明
± 1	露出を 1EV ずつ変更しながら撮影します。
± ⅔	露出を ⅔EV ずつ変更しながら撮影します。
± ⅓	露出を ⅓EV ずつ変更しながら撮影します。

いろいろな撮影

☛
でアンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した設定値きざみで撮影されません。

ISO ブラケティング

撮影した 1 枚の画像から、ISO 感度（→ 95 ページ）を変化させて 3 枚の画像を作成します。ISO 感度の変化する段階は、設定感度 ISO200 ～ 1600 までの間で 1/3 段ずつステップ幅を変更できます。

設 定	説 明
± 1	ステップを 1 段に設定します。
± ⅔	ステップを 2/3 段に設定します。
± ⅓	ステップを 1/3 段に設定します。

フィルムシミュレーション BKT

一度シャッターボタンを押すと、**フィルムシミュレーション**の設定を **PROVIA**、**Velvia**、**ASTIA** の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、**ダイナミックレンジ**の設定を **100%**、**200%**、**400%** の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

☛
の **感度**は **3200** 以下に制限されます。また、**画像サイズ**が の場合は、**感度**は **400** ～ **3200** に制限されます。

いろいろな撮影

画像の明るさを変える（露出補正）

画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。

1 露出補正ダイヤルを回すと、画像の明るさを調整できます。

露出補正インジケーター

－補正
（明るい画像を暗くします）

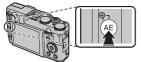
＋補正
（暗い画像を明るくします）

いろいろな撮影

明るさの測定方法を変える（測光モード）

AE ボタンを押すと、カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

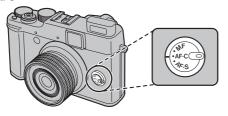
1 **AE** ボタンを押します。

測光モードの設定画面が表示されます。

2 測光モードの設定値を選びます。

撮影メニューの **顔キレイナビ**を **ON**（→ 62 ページ）にしているときは、測光モードは無効となります。

設 定	説 明
（マルチ）	シーン自動認識により、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、（マルチ）をおすすめします。
（スポット）	画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。 スポット測光時には、測光したい被写体を画面中央に配置して撮影してください。
（アベレージ）	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

ピント合わせの方法を変える（フォーカスモード）

フォーカスモード切換レバーで、ピント合わせの方法を変更できます。

設 定	説 明
AF-S （シングル AF）	スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
AF-C （コンティニュアス AF）	動きのある被写体の撮影に適しています。AF フレーム内の動いている被写体にピントを合わせ続けます。 • シャッターボタンを押さなくても常にピントを合わせ続けるため、電池の消耗が大きくなります。電池残量にご注意ください。
MF （MF）	ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体（→ 42 ページ）を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。顔キレイナビは自動的に OFF になります。

■ MF（マニュアルフォーカス）での撮影方法

1 フォーカスモード切換レバーで、**MF** を選びます。

画面に MF が表示されます。

2 サブコマンドダイヤルを回して、被写体がはっきり見えるようにピントを合わせます。

サブコマンドダイヤルを左に回すと近距離側に、右に回すと遠距離側にピントが合います。

☛
サブコマンドダイヤルを回す方向は、セットアップメニューの **フォーカスダイヤル**（→ 118 ページ）で設定できます。

ピントの確認方法

ピントの確認には、2 種類の方法があります。

- **拡大表示してピントを確認する**
  MF 時にセットアップメニューの MF **フォーカスチェック**（→ 117 ページ）を **ON** にしてサブコマンドダイヤルを回すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。

通常表示　拡大表示

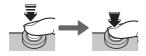
- **距離指標を目安にする**
  赤いバーはピントの中心値を、白いバーは被写界深度を示します。
  距離指標の単位は、セットアップメニューの **距離指標の単位**（→ 118 ページ）でメートルとフィートを切り換えられます。

いろいろな撮影

拡大表示する位置を変更する

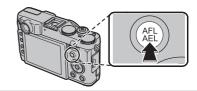
AF ボタンを押してから ▲▼◀▶ ボタンを押すと、ピント調整時に拡大表示する位置を変更できます。

- もう一度 **AF** 選択ボタンを押すと、拡大位置が設定されます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、拡大位置が中央に戻ります。

3 撮影します。

サブコマンドダイヤルを回し続けると、無限遠を超えたフォーカス位置になり、ピントが合わなくなる場合があります。

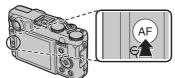
AE/AF LOCK ボタンについて

AE/AF LOCK ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。

いろいろな撮影

ピントを合わせるエリアを変える（AF エリア選択）

フォーカスモードを **AF-S** に設定し、撮影メニューの **AF モード**で **エリア選択**を選択している場合、**AF** 選択ボタンを押すと、ピント合わせのエリアを変更できます。

■ AF エリアの選択 / 移動

1 **AF** 選択ボタンを押します。
AF エリア選択の設定画面が表示されます。

AF エリアポイント（+）と AF エリアが表示されます。

2 ▲、▼、◀、▶ でピントを合わせたい位置に AF エリアを移動します。

- **MENU/OK** ボタンを押すと、AF エリアが中央に戻ります。

3 もう一度 **AF** 選択ボタンを押すと AF エリアの位置が設定されます。

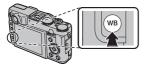
■ AF エリアの拡大 / 縮小

AF エリア選択の設定画面でメインコマンドダイヤルを左右に回すと、AF エリアのサイズが選べます。

- 左に回すとサイズが小さく（最小 50%）、右に回すとサイズが大きく（最大 150%）なります。メインコマンドダイヤルの中央を押すと、100% に戻ります。
- もう一度 **AF** 選択ボタンを押すとサイズが設定されます。

ホワイトバランスを変更する

WB ボタンを押すと、ホワイトバランスを変更できます。ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1 **WB ボタンを押します。**
ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

2 **設定値を選びます。**

設 定	説 明
AUTO	カメラが自動で設定
(カスタム)	カスタムホワイトバランス（手動で設定）
K	色温度を設定します（→ 60 ページ）。
(晴天)	晴天の屋外での撮影用
(日陰)	曇天や日陰などでの撮影用
(蛍光灯1)	昼光色蛍光灯の下での撮影用
(蛍光灯2)	昼白色蛍光灯の下での撮影用
(蛍光灯3)	白色蛍光灯の下での撮影用
(電球)	電球、白熱灯の下での撮影用
(水中)	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを測定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

1 撮影メニューから **カスタムホワイトバランス**を選びます。
2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。
3 シャッターボタンを全押しして測定します。
4「**GOOD!**」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「**OVER**」または「**UNDER**」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
  「**OVER**」と表示されたときは「－（マイナス）」側に、「**UNDER**」と表示されたときは「＋（プラス）」側に露出補正(→52ページ) してから、再度測定してください。
- **フィルムシミュレーション**、**感度**、**ダイナミックレンジ**を、実際に撮影するときの状態にしてから測定すると、より精度の高いホワイトバランスになります。

- フラッシュ発光時は、AUTO/ 水中設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

いろいろな撮影

■ K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

色温度の活用例

色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

1 ホワイトバランスの設定画面から K を選びます。

色温度の一覧が表示されます。

2 ▲▼ で色温度を選びます。

3 **MENU/OK** を押します。

色温度が設定されます。

色温度について

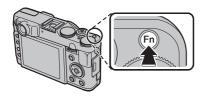
色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K［ケルビン］）で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

赤味大

青味大
2000K	5000K	15000K
ろうそくの炎	晴天の太陽	青空
朝日、夕日		晴天の木陰

いろいろな撮影

ファンクション（Fn）ボタンを使う

Fn（ファンクション）ボタンには機能を 1 つ割り当てられます。**Fn** ボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。

Fn ボタンの割り当ては、セットアップメニューの **Fn Fn ボタン設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- ISO 感度（→ 95 ページ）
- 画像サイズ（→ 95 ページ）
- 画質モード（→ 96 ページ）
- ダイナミックレンジ（→ 96 ページ）
- フィルムシミュレーション（→ 97 ページ）
- AF モード（→ 99 ページ）
- 個人認識（→ 63 ページ）
- 顔キレイナビ（→ 62 ページ）
- 超解像ズーム（→ 98 ページ）

顔キレイナビを使った撮影

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。

MENU/OK ボタンを押して撮影メニューを表示させ、**顔キレイナビ**を **ON** にします（→ 62 ページ）。

緑色の枠

- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

縦位置撮影時も顔を検出できます。

- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

顔キレイナビについて

顔キレイナビを使うと、一人旅などでセルフタイマーを使った自分撮りができます（→ 47 ページ）。

顔キレイナビで撮影した画像は、再生時に顔の部分を拡大して表示できます（→ 67 ページ）。

さらに、次のような機能も使えます。
- 赤目補正（→ 106 ページ）
- スライドショー（→ 104 ページ）
- プリント予約（DPOF）（→ 92 ページ）
- トリミング（→ 107 ページ）

いろいろな撮影

顔と個人情報を登録する（[icon] 個人認識）

個人認識情報を登録すると、登録した人の顔に優先的にピントや露出を合わせて撮影したり、再生時に登録した内容（名前や誕生日など）を表示したりできます。

個人認識情報を新規登録する

1 撮影メニューから [icon] **個人認識**を選びます。
個人認識設定画面が表示されます。

2 新規登録を選びます。
個人登録画面が表示されます。

3 個人登録画面のガイドに合わせて正面の顔を撮影します。
MENU/OK ボタンを押すと、撮影した顔が登録され、**個人情報**画面が表示されます。

☛
「**！登録できませんでした**」とメッセージが表示された場合は撮影し直してください。

4 名前を登録します。
個人情報画面で**名前**を選び、名前を入力します。

☛
入力できる文字は、アルファベット大文字 / 記号、数字で最大 14 文字です。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
名前が登録され、**個人情報**画面に戻ります。登録した名前を確認してください。

6 カテゴリーを登録します。
個人情報画面で**カテゴリー**を選び、属性をリストから選びます。

7 **MENU/OK** ボタンを押します。
カテゴリーが登録され、**個人情報**画面に戻ります。登録したカテゴリーを確認してください。

8 誕生日を登録します。
個人情報画面で**誕生日**を選び、誕生日を登録します。

9 **MENU/OK** ボタンを押します。
誕生日が登録され、**個人情報**画面に戻ります。登録した誕生日を確認してください。

撮影モードによっては登録できない場合があります。

- 再生時に顔を拡大しようとしたとき、画像の撮影日と緑色の枠が表示された人物の誕生日が一致すると、名前とともに「**Happy Birthday!**」が表示されます。
- 個人認識機能を使用しない場合は **個人認識**メニューの**個人認識**を **OFF** にしてください。

個人認識情報を表示 / 編集する

1 **個人認識**から**表示 / 編集**を選びます。
登録情報画面が表示されます。

2 内容を確認する人を選びます。
表示 / 編集画面が表示されます。

3 内容を確認します。
- 名前、誕生日、カテゴリーを変更する場合は、新規登録と同様の操作で入力し直します。
- **画像入替え**を選ぶと、登録されている顔の画像を撮り直して、入れ替えることができます。

登録削除を選ぶと、表示している登録情報を削除できます。

個人認識について
- 最大で 8 人までの情報を登録できます。すでに 8 人の情報が登録されている場合は、確認の画面が表示されますので、**表示 / 編集**で登録から外す人を削除してから新しい人を登録してください。
- 撮影時、**個人認識**で登録されている人の顔を複数認識した場合、顔の上に緑色または橙色の枠が表示されます。緑色の枠が表示された人物 1 人のみ、登録した名前が画面に表示されます。個人認識されていない顔を検出した場合は、顔の上には白色の枠が表示されます。名前が未登録の場合は、--- が表示されます。

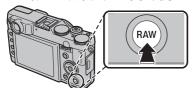
以下のようなときは、個人認識ができなかったり、正しく認識されなかったりする場合があります。
- 顔が正面を向いていない。
- 顔が画面に収まっていない。
- 顔の特徴が異なる（年齢によるものや表情など）。

RAW 画像を撮影する

撮影した画像を RAW ファイルで保存することができます。RAW ファイルとは、撮像素子から読み出された信号を直接保存したファイルのことです。
セットアップメニューから RAW **RAW** を選び、保存形式を指定します（→ 117 ページ）。

設定	説明
RAW+JPEG	RAW ファイルと JPEG ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルを保存します。
OFF	JPEG ファイルを保存します。

RAW ボタン

RAW ボタンを押すと、記録形式を一時的に変更します。

RAW **RAW** の設定内容	**RAW** ボタンを押した場合
RAW+JPEG	JPEG
RAW	JPEG
OFF	RAW+JPEG

再度 **RAW** ボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

- RAW ファイルを表示するには再生メニューの RAW **RAW 現像**（→ 104 ページ）で現像処理を行う必要があります。現像処理はパソコンでも行えます。
- パソコンで RAW ファイルを現像するには、パソコンに RAW File Converter がインストールされている必要があります。付属のソフトウェアをインストールしてください。
- RAW ファイルは、カメラ再生時に以下の機能は使用できません。
  - 赤目補正
  - トリミング
  - リサイズ
  - 再生ズームは最大 3.2 倍に制限
- 内蔵メモリーでの RAW 撮影はできません。メモリーカードを入れてください。

RAW 画像を現像するには

1 コマ再生時に **RAW** ボタンを押すと、RAW 現像のメニューになります（→ 104 ページ）。

いろいろな再生

1 コマ再生する

▶（再生）ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。

1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします 。

☛
他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

連写画像の再生

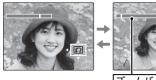
連写で撮影された画像は、最初の 1 枚のみが表示されます。連写画像を個別に表示させるときは ▼ を押します。

★ お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、★ お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数（0 ～ 5）を設定します。

再生ズーム

1 コマ再生時に 🔍 ボタンを押すと、画像をズーム（拡大）できます。拡大しすぎたときは 🔍 ボタンで縮小します。

🔍 を押すと拡大します。 🔍 を押すと縮小します。

拡大表示中に ▲、▼、◀、▶ を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

☛

- 最大ズーム倍率は、設定した **画像サイズ**（→ 95 ページ）によって変わります。
- **リサイズ**または **トリミング**を使って 640 で保存された画像は、再生ズームできません。

顔キレイナビで撮影した画像の再生について

顔キレイナビ（→ 62 ページ）を使って撮影した画像を再生すると、が液晶モニターに表示されます。▼ ボタンを押すたびに表示される顔が切り換わります。

顔の拡大

表示している顔の画像も通常画像と同じように 🔍 または 🔍 を押すと、顔を拡大表示できます。

いろいろな再生

マルチ再生する

再生時に、1 コマ、1 コマ順序付き、2 コマ、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示して画像を比較したり、見たい画像を選んだりすることができます。

🔍－ ボタンを押すたびに表示される画像が増えます。

🔍＋ ボタンを押すたびに表示される画像が減ります。

- ▲、▼、◀ または ▶ を押して画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示します。
- 9 コマ再生または 100 コマ再生では、▲ または ▼ を押してページを切り換えられます。

2 コマ再生

高感度 2 枚撮りで撮影した画像を比較するときは2コマ再生が便利です。

🗑 画像を消去する

画像を 1 コマだけ消去したり、画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**

MENU/OK ボタンを押して再生メニューを表示させ、🗑 **消去**から消去方法を選びます。

☛
プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください（→ 106 ページ）。

1 コマ消去

消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

☛
- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❗ が表示されます。

1 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

2 まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。

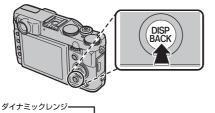
3 **実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

- メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。
- **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください（→ 106 ページ）。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

撮影時の情報を確認する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、撮影時の情報を確認できます。さらに **DISP/BACK** ボタンを押すと情報は消えます。

高輝度警告

露出オーバーで白とびした箇所は、黒く点滅して表示されます。

■ 詳細情報を確認する

1 コマ再生時にメインコマンドダイヤルを回すと、撮影時の詳細情報を確認できます。

D-RANGE	: AUTO
COLOR	: STD
HIGHLIGHTTONE	: STD
SHADOWTONE	: STD
SHARPNESS	: ---
FILM SIM.	: Velvia
WHITE BALANCE	: AUTO

メインコマンドダイヤルを左右に回すと、画面が切り替わります。

☛

AF 撮影時にピントを合わせた位置も確認できます。ピントを合わせた位置に「+」マーク（AF エリアポイント）が表示されます。

ピントの位置を拡大表示する

メインコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度メインコマンドダイヤルの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。

ピクチャーサーチ

再生メニューの **ピクチャーサーチ**で、画像を検索できます。

1 検索条件を選びます。

以下の条件から選びます。

検索条件	内 容
日付で検索	指定した撮影日を選んで画像を表示します。
顔で検索	顔の情報をもとにして指定した画像を表示します。
★ お気に入りで検索	指定した ★ お気に入りランクの画像を表示します（→ 66 ページ）。
撮影シーンで検索	指定した撮影シーンを選んで画像を表示します。
画像タイプで検索	静止画 / 動画 / 連写 / RAW のタイプ別に表示します。
アップロード先で検索	アップロード先を選んで画像を表示します。

2 **MENU/OK** ボタンを押して検索条件を決定します。

3 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ぶと、条件に合ったサーチ画面が表示されます。

☛

サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。操作方法は参照ページをご覧ください。

メニュー	参照ページ
消去	P.69
プロテクト	P.106
スライドショー	P.104

📖 フォトブックアシスト

お気に入りの画像を集めて、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニューから 📖 **フォトブックアシスト**を選びます。

2 **新規 BOOK** を選び、**MENU/OK** を押します。
フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。

全画像から選択：保存されているすべての画像から 1 枚ずつ選択できます。
サーチして選択：指定した条件で検索した画像から選択できます（→ 72 ページ）。

 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

4 画像を選択します。
- ▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。
- ▼ で表示されている画像を表紙にします。

最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

5 画像の選択が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

6 **作成終了**を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

7 **MENU/OK ボタンを押します。**
フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧下さい。

http://fujifilm.jp/personal/print/index.html

作成したフォトブックを見る

作成されているブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。
◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。

2 **編集**または**削除**を選びます。

- **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法は「フォトブックを作成する」と同じです（→ 73 ページ）。
- **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。

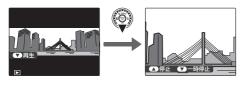
3 **画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。**

いろいろな再生

パノラマを再生する

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。

横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。

👉

- 360 で撮影したパノラマ写真は、エンドレスで再生され（→ 39 ページ）、 **自動電源 OFF** の設定が無効になります（→ 115 ページ）。
- 360 で撮影したパノラマ写真を再生中に、◀ を押すと再生方向が右から左になります。▶ を押すと左から右に戻ります。

パノラマ再生時の操作方法について

機 能	操 作	説 明
再生 / 一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると停止します。再生中にもう一度 ▼ を押すと、一時停止します。
停止	▲	再生を終了します。

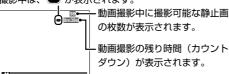
👉

停止中（1 コマ再生時）に 縮小 ボタンまたは 拡大 ボタンを押すと、パノラマ写真を縮小 / 拡大表示できます。

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを に合わせてシャッターボタンを全押しすると、動画撮影が開始されます。

撮影中は、 が表示されます。

動画撮影中もズームリングでズーム操作が行えます（→ 27 ページ）。

2 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

メモリカードに記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。動画撮影中またはインジケーターランプ点灯中に電池カバーを開けないでください。撮影した動画が再生できなくなります。

動画撮影中の静止画撮影について

動画撮影中に **MENU/OK** ボタンを押すと、静止画を撮影できます。

- 画像サイズは M 以下に制限されます（L に設定されている場合は、自動的に M になります）。
- 静止画を撮影した部分は、動画には記録されません。
- 静止画と動画はそれぞれ別のファイルで保存されます。

- ハイスピード動画の撮影中は、静止画の撮影はできません。
- 撮影できる枚数には限りがあります。

- ピント、露出、ホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の画面表示と異なることがあります。
- 被写体が暗くピントが合いにくい場合、AF 補助光ランプが発光します。AF 補助光を発光しないようにするには、セットアップメニューの **AF 補助光**（→ 117 ページ）を **OFF** にします。

- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。
- 長時間、動画を撮影したり、まわりの温度が高い場所で使用した場合に、カメラの温度が高くなることがありますが故障ではありません。

動画の画像サイズを変更するには

撮影メニューで **動画モード**を選びます。

設 定	説 明
1920（1920 × 1080）	フルハイビジョン動画
1280（1280 × 720）	ハイビジョン動画
（640 × 480）	標準動画
640 × 480（70fps）	ハイスピード動画
320 × 240（120fps）	
320 × 112（200fps）	

ハイスピード動画について
- ハイスピード動画では、音声は記録されません。
- ハイスピード動画撮影中にピントや露出、ズーム、ホワイトバランスは自動調整されません。
- **320 × 112** を選んだときは、上下に黒い帯が表示されます。

動画の撮影と再生

▶ 動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、🎥 が表示されます。▼ を押して、動画を再生します。

動画アイコン

動画再生時の操作方法について

☛

- パソコンで動画を再生するときは、カメラをパソコンに接続して、動画をパソコンに転送してください（→ 81 ページ）。
- 停止中に ▲（🗑）ボタンを押すと、現在表示中の動画を消去できます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、セットアップメニューでも設定できます。

❗

スピーカー（→ 8 ページ）を指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

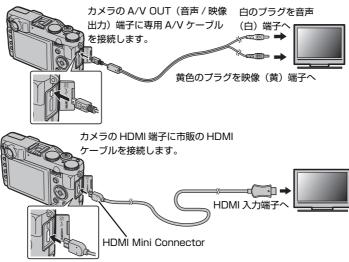
動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶（◀）の数で表示されます。▶（◀）の数が多いほど速度が速くなります。

テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショー（→ 104 ページ）を大勢で楽しむことができます。

1 カメラの電源をオフにします。

2 専用 A/V（音声 / 映像）ケーブル（別売）または市販の HDMI ケーブルで、カメラとテレビを接続します。

☛
USB ケーブル / 別売の専用 A/V ケーブルと HDMI ケーブルを同時に接続できません。

3 テレビの入力をビデオ入力または HDMI 入力に切り換えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書を参照してください。

4 ▶（再生）ボタンを長押しして電源を入れます。

カメラの液晶モニターが消え、画像やボイスメモがテレビで再生されます。

ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質が低下します。

パソコンと接続する

付属のソフトウェア（Windows：MyFinePix Studio、Macintosh：FinePixViewer）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。カメラとパソコンを接続する前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境	
OS *1	Windows 7（SP1）/ Windows Vista（SP2）	Windows XP（SP3）
CPU	Pentium4、3GHz 相当以上 （Core 2 Duo、2.4GHz 以上）*2	Pentium4、2GHz 相当以上 （Core 2 Duo、2.4GHz 以上）*2
メモリ	1GB 以上	512MB 以上（1GB 以上）*2
ハードディスク空き容量	2GB 以上	
ディスプレイ	DirectX 9 以上対応のビデオカード（推奨）	DirectX 7 以上対応のビデオカード（必須）*3
	1,024 × 768 ドット以上 フルカラー	
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要 • .NET Framework のインストールが必要な場合も、インターネット接続ができる環境が必要	

*1 すべてプリインストールされたモデルのみ。
*2 HD 動画を再生するための推奨動作環境。
*3 DirectX 7 に対応していないパソコンにインストールすると、正常に動作しない場合があります。詳しくは、ご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。

CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

81 ページ以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。

コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが自動で起動します。

Windows 7/Windows Vista をお使いの方へ

同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**はい**（Windows Vista では**続行**）をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 スタートメニューから**コンピューター**（Windows 7）/ **コンピュータ**（Windows Vista）/ **マイコンピュータ**（Windows XP）をクリックします。
2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。
3 **SETUP** または **SETUP.EXE** をダブルクリックします。

4 **MyFinePix Studio のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX、.NET Framework が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。

5 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」（→ 86 ページ）に進んでください。

☛
CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows から MyFinePix Studio をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に MyFinePix Studio を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows 7/Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP）で MyFinePix Studio を削除してください。

2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Macintosh にソフトウェア「FinePixViewer」をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	PowerPC または Intel processor（Core 2 Duo 以上）*2
OS *1	Mac OS X（バージョン 10.3.9 ～ 10.6）
メモリ	256 MB 以上（1 GB 以上）*2
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200 MB 以上 動作に必要な容量 400 MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外

*1 すべてプリインストールされたモデルのみ。

*2 HD 動画を再生するための推奨動作環境。

※ 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html

☛
CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、**Installer for Mac OS X** をダブルクリックします。

☛
RAW FILE CONVERTER をインストールする場合は、**SILKYRFCEXInstaller** をダブルクリックしてください。
RAW FILE CONVERTER をインストールすると、RAW 画像をパソコン上で現像できます。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**終了**をクリックしてください。

6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** − **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

7 FinePix Viewer を自動起動させせます。

■ **Mac OS X（バージョン 10.5 以前）について**

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。
2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。
3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。
4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。
5 イメージキャプチャを終了します。

■ **Mac OS X（バージョン 10.6）について**

1 あらかじめカメラを接続しておき、カメラの電源をオンにします。
2 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。デバイス欄に、接続したカメラが表示されます。
3 接続したカメラの動作設定を選択します。**このカメラを接続時に開くアプリケーション**欄で、**その他**から **FPVBridge** 選択し、**選択**ボタンをクリックします。
4 イメージキャプチャを終了します。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

☛
CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Macintosh から FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 アプリケーションフォルダにインストールされた FinePixViewer フォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

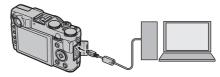
2 Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。

2 カメラの電源をオフにします。

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

☛
USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

4 ズームリングを回すか ▶（再生）ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

5 画像を転送します。

ソフトウェアが自動的に起動するので、画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

画像の保存が完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
  - メモリーカードを抜く
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアが自動起動しないときは、正しくインストールされていない可能性があります。パソコンとカメラの接続を外して、ソフトウェアを再インストールしてください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

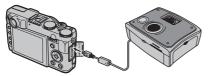
ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

画像をプリントする

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

プリンターに接続する

1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

2 ▶（再生）ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。
液晶モニターに USB 接続画面が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

その場で選んでプリントする

1 プリントしたい画像を選びます。

2 プリント枚数を指定します。
最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 もう一度**MENU/OK**ボタンを押します。
プリントが開始されます。

- プリント枚数を 1 枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押すと、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

プリント予約（DPOF）（→ 92 ページ）であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

1 **DISP/BACK** ボタンを押します。
ピクトブリッジの設定画面が表示されます。

2 **予約プリント**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

4 もう一度**MENU/OK**ボタンを押します。
プリントが開始されます。

画像をプリントする

プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

- 内蔵メモリーまたはこのカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、フチあり / フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約（DPOF）**であらかじめ DPOF 指定（→ 92 ページ）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

デジタルカメラ

事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（**プリント予約（DPOF）**→92ページ）。

メモリーカード

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

フジカラーデジカメプリントサービス店

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。
詳細は、http://fujifilm.jp/personal/print/index.html を参照してください。

デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、81 ページをご参照ください。
- 内蔵メモリー内の画像は、お店プリントできません。再生メニューの COPY **画像コピー**（→ 109 ページ）でメモリーカードに画像をコピーしてから **プリント予約**（DPOF）で DPOF 指定して、プリントサービス店にお持ちください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（→ 24 ページ）。
- パノラマモードで撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html

プリントする画像を指定する（ プリント予約（DPOF））

再生メニューの **プリント予約（DPOF）** であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり（→ 88 ページ）、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするとき（→ 91 ページ）に、指定した内容で簡単にプリントできます。

DPOF 指定

DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

■ 日付あり設定 / 日付なし設定

1 再生メニューで **プリント予約（DPOF）** を選びます（→ 110 ページ）。

2 **日付あり設定**または**日付なし設定**を選びます。

日付あり設定：撮影日を印字します。

日付なし設定：撮影日を印字しません。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 DPOF 指定する画像を選びます。

5 プリント枚数を選びます（最大99 枚）。

- DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。

- 顔キレイナビ（→ 62 ページ）で撮影した画像（ が表示された画像）の場合、▼ ボタンを押すと、カメラが検出した顔の数と同じプリント枚数が設定されます。

6 プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。

設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

7 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に が表示されます。

- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右図のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定をし直してください。

- 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定（プリント予約）を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 変更する項目を選び、設定を変更します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。

4 **DISP/BACK** ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

☛
メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

• [ ] 内は工場出荷時の設定値です。

EXR モード []

モードダイヤルが **EXR** のときに、シーンに合った EXR モードを設定できます（→ 36 ページ）。

Adv. モード []

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます（→ 38 ページ）。

シーン選択 []

モードダイヤルが **SP** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます（→ 41 ページ）。

ISO 感度 [AUTO（800）]

光に対する感度を変更できます。
感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

設 定	説 明
AUTO	被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。
AUTO (3200)/AUTO (1600)/AUTO (800)/AUTO (400)	自動的に設定される感度の上限を選べます。
12800/6400/5000/4000/3200/2500/2000/1600/1250/1000/800/640/500/400/320/250/200/100	設定値を変更できます。設定した値は、画面に表示されます。

画像サイズ [L 4:3]

撮影する画像の大きさと縦横比を変更できます。
画像サイズが大きいほど画質が良くなり、小さいほど多くの画像を記録できます。

設 定	用途例
L 4:3	A3、四切（254mm × 305mm）、四切 W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
L 3:2	
L 16:9	
L 1:1	
M 4:3	六切（203mm × 255mm）、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
M 3:2	
M 16:9	
M 1:1	
S 4:3	DSC（89mm × 119mm）、L（89mm×127mm）、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
S 3:2	
S 16:9	
S 1:1	

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設 定	説 明
4:3	液晶モニターの再生表示の比率と同じです。
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード [FINE]

撮影する画像の画質を変更できます。

設 定	説 明
FINE	画質優先
NORMAL	撮影枚数優先

D-Rng ダイナミックレンジ [AUTO]

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。

設 定	おすすめ用途
AUTO	撮影シーンに適した設定を行います。
R100 **100%**	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。 ↑ ↓ コントラストの強いシーンでは、白とびや黒つぶれを抑ええます。
R200 **200%**	
R400 **400%**	
R800 **800%**	
R1600 **1600%**	

R1600 **1600%** と R800 **800%** は **EXR モード**で**ダイナミックレンジ**優先を選択している場合のみ設定できます。

ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。

フィルムシミュレーション［PROVIA］

撮影時の発色や階調を変更できます。

設 定	説 明
PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や自然の撮影に適しています。
ASTIA/ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調で、しっとりとした表現に適しています。
モノクロ（フィルターなし）	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
モノクロ＋Ye フィルター	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。
モノクロ＋R フィルター	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。
モノクロ＋G フィルター	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適しています。

ホワイトバランスシフト

ホワイトバランスを手動で微調整します。

◀ または ▶ で微調整する項目を選び、▲ または ▼ で値を変更します。それぞれの値を -9 ～ +9 の範囲で調整し、**MENU/OK** で設定を完了します。

カラー ［標準］

撮影する画像の色の濃さを変更できます。

設定：**濃い** / **やや濃い** / **標準** / **やや薄い** / **薄い**

シャープネス ［スタンダード］

輪郭をやわらかくしたいときや強調したいときに使用します。

設定：**ハード** / **ミディアムハード** / **スタンダード** / **ミディアムソフト** / **ソフト**

ハイライトトーン [スタンダード]

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：ハード / ミディアムハード / スタンダード / ミディアムソフト / ソフト

シャドウトーン [スタンダード]

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：ハード / ミディアムハード / スタンダード / ミディアムソフト / ソフト

ノイズリダクション [スタンダード]

撮影画像のノイズを低減します。

設定：**強** / **やや強** / **スタンダード** / **やや弱** / **弱**

超解像ズーム [OFF]

ON にすると、画像を2倍に拡大して撮影します。デジタル超解像処理によって、シャープで解像感のある画像を撮影できます。

- 超解像ズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化する場合があります。
- モード変更により、超解像ズームが解除される場合があります。
- 超解像ズームを使うと、処理に時間がかかります。
- 撮影画面には、超解像ズームの画像は表示されません。
- 連写や動画撮影では、超解像ズームは使用できません。

インテリジェントブレ防止 [ON]

ON にすると、**プレミアム EXR オート**時にインテリジェントブレ防止が有効になります（→ 37 ページ）。

設定：**ON/OFF**

顔キレイナビ

顔にピントと明るさを合わせて、人物を明るく目立つように撮影できます（→ 62 ページ）。

メニューを使いこなす

AF モード　[エリア選択]

AF-S 時の AF エリア選択方法を設定します。

設 定	用途例
オートエリア	シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを手動で選択します（→ 57 ページ）。
自動追尾	被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。被写体に画面中央の枠を合わせ、◀ を押すと、自動追尾を開始します

- では、シャッターボタンを押していなくても、常にピントを合わせ続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。
- マクロ撮影時は、ピントは常に中央付近に固定されます。

個人認識設定

個人認識情報を登録すると、登録した人の顔に優先的にピントや露出を合わせて撮影したり、再生時に登録した内容（名前や誕生日など）を表示したりできます（→ 63 ページ）。

フラッシュ　[± 0]

撮影目的や撮影条件に合わせてフラッシュの発光量を変更できます。

設定：**+2/3**/**+1/3**/**±0**/**-1/3**/**-2/3**

被写体の条件や撮影距離などによっては、発光量の補正効果が得られない場合があります。

外部フラッシュ　[OFF]

富士フイルム製以外の外部フラッシュを使用するときに設定します。
外部フラッシュの設定は、フラッシュの説明書をご覧の上、ご使用ください。

設 定	用途例
OFF	市販の外部フラッシュを使用せず、内蔵フラッシュを使用する場合に設定します。
ON	市販の外部フラッシュを使用する場合に設定します。

- 1/1000 秒より高速なシャッタースピードを設定したときは、撮影画像が暗くなる場合があります。
- **ホワイトバランス**（→ 59 ページ）は、**AUTO** または**カスタム**に設定してください。
- **外部フラッシュ**を **ON** にして内蔵フラッシュをポップアップすると、外部フラッシュを発光させるための信号として、内蔵フラッシュが 1 回発光します。
- 外部フラッシュは **P**、**S**、**A**、**M**、**C** モード、**EXR**（HR、SN）モードでのみ使用できます。
- 富士フイルム製の別売フラッシュをご使用の場合は、設定不要です。

- 絞り値の設定、外部調光、感度設定が可能な外部フラッシュが使用できます。ただし、一部のカメラ専用フラッシュでは、使用できない場合もあります。
- 富士フイルム製の別売フラッシュについては 122 ページをご覧ください。

カスタムモード保存

撮影モードの **P**、**S**、**A**、**M**、**EXR**（HR、SN、DR）モードの撮影設定を保存します（→ 35 ページ）。

設定：**C1**/**C2**

カスタム撮影画面

液晶モニターに表示する情報を設定します。

1 撮影メニューで **カスタム撮影画面**を選びます。

2 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目は、☑ が表示されます。☑ が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

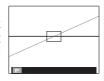
フレーミングガイド*1	フラッシュ
電子水準器	ホワイトバランス
AF 時の距離指標	フィルムシミュレーション
MF 時の距離指標	ダイナミックレンジ
ヒストグラム	撮影可能枚数
絞り / シャッター速度 /ISO	画像サイズ & 画質モード
露出補正バー	バッテリー残量表示
測光	

*1 フレーミングガイドの種類を選択できます（→ 118 ページ）。

表示される場所は 11 ～ 12ページを参照してください。

3 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。

電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2 本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。

☛
カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

動画モード [FULL HD 1920]

動画の画像サイズを変更できます（→ 77 ページ）。

設定： **FULL HD 1920**/**HD 1280**/**640**/**HS 640 × 480**/**HS 320 × 240**/**HS 320 × 112**

AF モード（動画撮影時のみ） [回]

動画撮影時のピント合わせのエリアを変更できます。

設 定	説 明
⊡ センター固定	画面中央にある被写体にピントを合わせます。
回 コンティニュアス	＋マーク付近の動いている被写体にピントを合わせ続けます。

☛
回 では、シャッターボタンを押していなくても、常にピントを合わせ続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 ▶ ボタンを押します。
再生モードに切り換わります。

2 **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

3 変更する項目を選び、設定を変更します。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

5 **DISP/BACK** ボタンを押します。
再生画面に戻ります。

再生メニュー一覧

フォトブックアシスト

画像を選んでフォトブックを作成できます（→ 73 ページ）。

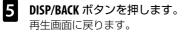
ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます（→ 72 ページ）。

消去

画像を 1 コマずつ消去したり、複数の画像を指定して消去したり、全コマまとめて消去できます（→ 69 ページ）。

アップロード先設定

画像や動画を選んで YouTube や FACEBOOK 、mixi へのアップロード先を設定できます。

■ アップロード予約 / 解除

1 再生メニューで **アップロード先設定**を選びます。

2 アップロード先を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 アップロード予約する画像または解除する画像を選びます。

- アップロード予約されていない画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、予約を設定します。
- アップロード予約されている画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、予約を解除します。

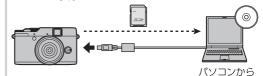
4 手順 3 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。

設定を終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

- **全コマ解除**を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP/BACK** を押してください。
- アップロード予約されたファイルは、再生時に **YouTube**、**FACEBOOK**、**mixi** と表示されます。
- アップロード先が YouTube の場合、動画のみアップロードできます。
- アップロード先が mixi の場合、静止画のみアップロードできます。

Web にアップロードするには

カメラで予約した画像は MyFinePix Studio を使ってパソコンから簡単にアップロードできます。

カメラとパソコンを接続する前に MyFinePix Studio をインストールしてください（→ 81 ページ）。

この機能は Windows のみで使用できます。

メニューを使いこなす

スライドショー [マルチ]

画像を順番に自動再生します。

- **MENU/OK** ボタン：スライドショーの開始 / 終了
- **DISP/BACK** ボタン：スライドショー終了のガイダンス表示
- ◀/▶ ボタン：コマ送り（マルチ以外）

設 定	説 明
ノーマル ※	1 コマずつ再生
ノーマル	
フェード ※	1 コマずつフェードアウトしながら再生
フェード	
マルチ	複数コマを一度に再生

※：顔キレイナビで撮影した画像の場合は、検出した顔を拡大表示します。

スライドショー中は、自動電源 OFF は機能しません。

メニューを使いこなす

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

1 再生メニューで **RAW 現像**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定できる機能の一覧が表示されます。

3 変更する項目を選びます。

4 設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。
手順 2 の画面に戻ります。手順 5 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

6 **RAW** ボタンを押します。
保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

7 **MENU/OK** ボタンを押します。
JPEG 画像が保存されます。

■ RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機 能	設 定	参照ページ
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	**－ 1 EV ～＋ 1 EV まで ⅓EV ステップ**	P.52
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。	R100/R200/R400	P.96
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	STD/V/S/B/BY/BR/BG/SEPIA	P.97
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO/カスタム/K/晴天/日陰/蛍光灯1/蛍光灯2/蛍光灯3/電球/水中	P.59
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	－９～＋９	P.97
カラー	撮影時の画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。	**濃い / やや濃い / 標準 / やや薄い / 薄い**	P.97
シャープネス	撮影時の画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。	HARD/M-HARD/STD/M-SOFT/SOFT	P.97
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	**強 / やや強 /**STD/**やや弱 / 弱**	P.98
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	HARD/M-HARD/STD/M-SOFT/SOFT	P.98
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	HARD/M-HARD/STD/M-SOFT/SOFT	P.98
色空間	画像に適用する色空間を設定します。	sRGB/Adobe RGB	P.119

赤目補正

顔キレイナビ（→ 62 ページ）で撮影した画像（ が表示されている画像）の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 再生メニューで **赤目補正**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像（ が表示されている画像）や RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。
- 赤目補正済みの画像（ が表示されている画像）は、それ以上赤目補正できません。

プロテクト

画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

1 再生メニューで **プロテクト**を選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

- 設定 / 解除：プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクトされている画像はプロテクト設定が解除されます。
- 全コマ設定：すべての画像がプロテクトされます。
- 全コマ解除：すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。

4 **DISP/BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

メニューを使いこなす

メモリーカードをフォーマット（→ 113 ページ）すると、プロテクトした画像も消去されます。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1. 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
2. 再生メニューで **トリミング**を選びます。
3. 、、▲、▼、◀、▶ ボタンで切り抜きたい部分を調整します。
4. **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
5. **MENU/OK** ボタンを押してトリミングします。

顔キレイナビ

顔キレイナビ（→ 62 ページ）で撮影した画像（ が表示された画像）を選んで、▼ ボタンを押すと、ピントの合った顔の部分が拡大表示されます。主被写体を切り抜きたいときに便利です。

- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミング後の記録画素数が 640 のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、4：3 になります。

メニューを使いこなす

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2 再生メニューで リサイズを選びます。

3 変更するサイズを選び **MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押してリサイズします。

元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

画像回転

画像を回転できます。
設定した画像を次に再生すると、自動的に回転した状態で表示されます。

1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 再生メニューで **画像回転**を選びます。

3 ▼（時計回りに 90°回転）または ▲（反時計回りに 90°回転）ボタンで画像を回転します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、回転を決定します。

- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転させてください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

COPY 画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

1 再生メニューで COPY **画像コピー**を選びます。

2 コピーの方法を選びます。
- IN **カメラ** ➡ SD **カード**：内蔵メモリーからメモリーカードにコピー
- SD **カード** ➡ IN **カメラ**：メモリーカードから内蔵メモリーにコピー

3 ▶ を押します。

4 **1 コマ**または**全コマ**を選びます。
- 1 コマ：表示中の画像をコピー
- 全コマ：すべての画像をコピー

5 **MENU/OK** ボタンを押して、コピーを開始します。

☛
◀ または ▶ で、続けてコピーする画像を選べます。

!
- コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- **プリント予約（DPOF）**（→ 92 ページ）していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

ボイスメモ

静止画に最長 30 秒間の音声を録音できます。

1 再生画面でボイスメモを録音したい画像を選びます。

2 再生メニューで **ボイスメモ**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、録音を開始します。

4 **MENU/OK** ボタンを押すと、録音が終了します（30 秒経過すると自動的に終了します）。

- マイクが顔の正面に来るように、カメラを持ち、カメラを約20cm 離すと、うまく録音できます。
- 動画やプロテクト設定した画像には、ボイスメモは録音できません。ボイスメモを録音する前に、プロテクトを解除してください。
- ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音の選択画面が表示されます。ボイスメモを上書きしたいときは、**再録音**を選びます。

ボイスメモを再生する

録音したボイスメモを再生します。ボイスメモ付きの画像（ が表示された画像）を選び、再生メニューの **ボイスメモ**から再生を選ぶと、ボイスメモを再生できます。画面に進行状況を示すバーが表示されます。

スピーカーをふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

他のカメラで録音したボイスメモは再生できないことがあります。

認識情報削除

登録されている個人認識情報を削除できます。

1. 再生画面で個人認識登録されている顔が写っている画像を選びます。
2. 再生メニューで **認識情報削除**を選びます。
3. **MENU/OK** ボタンを押して、選択した画像に登録された個人認識情報を削除します。

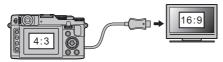
リサイズまたは **トリミング**を使って 640 以下で保存された画像の個人認識情報は削除できません。

プリント予約（DPOF）

DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します（→ 92 ページ）。

表示比率 [4:3]

4:3 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。
HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。

設 定	16:9	4:3
イメージ		

16:9 で撮影された画像は **16:9** に設定してください。**3:2** や **1:1** で撮影された画像は左右に黒い枠が表示されます。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影 / 再生メニューが表示されます。

2 ◀ を押してタブを反転させ、▼ を押して SET を選びます。

3 ▶ を押します。
セットアップメニューの選択画面が表示されます。

4 変更する項目を選び、設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。

6 **DISP/BACK** ボタンを押します。
撮影 / 再生画面に戻ります。

セットアップメニュー一覧

日時設定

日付と時刻を設定します。
日時の設定方法については、「使用する言語と日時を設定する」をご覧ください（→ 24 ページ）。

世界時計 [⌂]

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設 定	説 明
⌂ ホーム	「使用する言語と日時を設定する」（→ 24 ページ）で設定した地域の日時を表示
✈ 現地	旅行先の日時を表示

現地時間の設定

1　✈ 現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
2　時差を設定します。
　・ ◀▶ ：＋ / －、時間、分の選択
　・ ▲▼ ：設定の変更
3　**MENU/OK** ボタンを押します。

☛
✈ 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ✈ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

言語/LANG. [日本語]

画面に表示する言語を設定します。

設定：**ENGLISH**/ **日本語**

マナーモード [OFF]

ON にすると、フラッシュと AF 補助光を発光禁止にし（撮影モード を除く）、操作音やシャッター音、動画やボイスメモの再生音をオフに設定します。

設定：**ON**/**OFF**

リセット

日時設定、**世界時計**、**配色設定**、**ビデオ出力**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 ▶ を押すと、確認画面が表示されます。

2 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマット（初期化）します。メモリーカードが入っていないとき（ が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。
プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。

- 消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

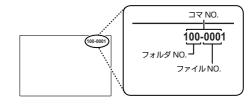
撮影画像表示 [1.5 秒]

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設 定	説 明
3 秒	撮影した画像を一定時間表示
1.5 秒	
画像拡大チェック	**MENU/OK** ボタンを押すまで画像を拡大して表示 • 画像の拡大表示中に ▲、▼、◀ または ▶ を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。 • ピントが合っているか確認したいときに便利です。 • 顔キレイナビ **ON** で撮影したときは、認識した顔を拡大します。複数の顔を認識したときは、▼ ボタンで次の顔を拡大します。 • 撮影モードが のとき画像拡大チェック機能は働きません。
OFF	表示なし

☛
- **3 秒**、**1.5 秒**のときに表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 連写では、撮影後に必ず撮影結果が表示されます。

コマ NO. [連番]

コマ NO.（フォルダ NO.- ファイル NO.）の付け方を設定します。メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。

メニュー項目	機 能
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きいほうの番号を付けます。 • ファイル名の重複を防ぐことができます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 • フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。

メニューを使いこなす

☛
- リセット (→ 113 ページ) を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（→ 142 ページ）。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

操作音量 [ ]

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定：/ / / OFF

☛
音を消したいときは、OFF を選びます。

シャッター音量 [ ]

シャッターをきるときの音量を設定します。

設定：/ / / OFF

☛
音を消したいときは、OFF を選びます。

シャッター音 [♪1]

シャッターをきるときの音を設定します。

設定：♪1/♪2/♪3

再生音量 [7]

再生時の音量を設定します。

設定：0 ～ 10

モニター明るさ [0]

画面の明るさを設定します。

設定：-5 ～ +5

自動電源 OFF [2 分]

自動的に電源をオフにできます。

設 定	説 明
5 分	指定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2 分	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

☛
設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。

メニューを使いこなす

クイック起動 [OFF]

電源をオンにしたとき通常より素早くカメラを起動できるよう、電源をオフにしてもスリープ状態で待機します。

設定：**ON/OFF**

ON に設定している間は、少しずつバッテリーを消費します。

Fn ボタン設定 [感度]

Fn（ファンクション）ボタンに割り当てる機能を設定できます（→ 61 ページ）。

ブレ防止モード [常時＋動き認識]

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
常時＋動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時＋動き認識	シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
撮影時	シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。
OFF	ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。

感度を **100** ～ **12800** の固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。

赤目補正 [OFF]

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、自動的に「赤目現象」を軽減します。

設定：**ON/OFF**

- 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

メニューを使いこなす

AF 補助光 [ON]

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。
AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定：**ON**/**OFF**

- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

AE/AF-LOCK 設定 [AE/AF-LOCK 押下中のみ]

AFL/AEL ボタンを押したときの動作を設定します（→ 43 ページ）。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AE/AF が固定されます。
押下切替	ボタンを押すと AE/AF が固定され、もう一度押すと解除されます。

AE/AF-LOCK 機能設定 [AE LOCK のみ]

AFL/AEL ボタンを押したとき、露出（AE）とピント（AF）のどちらを固定するかを設定します（→ 43 ページ）。

設定：**AE LOCK のみ** /**AF LOCK のみ** /**AE+AF LOCK**

RAW [OFF]

撮影した画像の保存形式を指定します。（→ 65 ページ）

フォーカスチェック [ON]

マニュアルフォーカスでサブコマンドダイヤルを回したとき、画面全体を拡大表示してピントを合わせやすくします。

設定：**ON**/**OFF**

マニュアルフォーカス（→ 54、55 ページ）のときのみ使用できます。

フォーカスダイヤル [時計回り]

ピントを遠距離側に合わせるときに、サブコマンドダイヤルをどちらに回すかを設定できます。

設定：時計回り / 反時計回り

距離指標の単位 [メートル]

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます（→ 55 ページ）。

設定：メートル / フィート

フレーミングガイド [方眼 9 分割]

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	方眼 9 分割	方眼 24 分割	HD フレーミング
説明	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	縦横にガイド線が表示されます（24 コマ）。	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。
イメージ	P	P	P

メニューを使いこなす

色空間 [sRGB]

カラースペースを選択できます。

設 定	説 明
sRGB	通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	商用印刷用途などに適しています。

処理前画像記録 [OFF]

処理後の画像と処理前の画像を、両方とも保存します。**赤目補正**、**ぼかしコントロール**、**連写重ね撮り**、**ぐるっとパノラマ** のそれぞれを **ON** または **OFF** に設定してください。

設定：**ON**/**OFF**

縦横自動回転再生 [ON]

縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定：**ON**/**OFF**

配色設定 [ブラック]

メニューやカーソルなどの色を設定できます。

設定：**ブルー** / **パープル** / **ピンク** / **オレンジ** / **グリーン** / **ブラック**

撮影ガイド表示 [ON]

機能の説明を表示します。

設定：**ON**/**OFF**

ビデオ出力 [NTSC]

ビデオ出力の方式を設定します。
各国の方式に合わせて設定してください。

設定：**NTSC**/**PAL**

日本国内で使用するときは **NTSC** を選んでください。

カスタムリセット

撮影モード **C1**/**C2** に保存された撮影設定をリセットします。

パフォーマンス

カメラが優先する機能を設定します。

設定	説明
節電	消費電力を抑え、バッテリーを長持ちさせたいとき
モニターパワーアップ	液晶モニターを明るく見やすくしたいとき

- にすると、のときよりも早く液晶モニターが暗くなります。ボタンを操作すると、通常の明るさに戻ります。
- **顔キレイナビ**が **ON** のときは、は無効になります。

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

DEGITAL CAMERA
X10

パソコンに接続して画像を保存する

※パソコンで動画再生をするには、DirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

専用USBケーブル（付属品）で接続

パーソナルコンピューター（市販品）

外部フラッシュ

クリップオンフラッシュ EF-20（別売）

クリップオンフラッシュ EF-42（別売）

テレビで見る

専用A/Vケーブル（別売）で接続

モニターテレビ（市販品）

HDMIケーブル（市販品）で接続

ハイビジョンテレビ（市販品）

SD/SDHC/SDXC メモリーカード（市販品）

プリントする

PictBridge

専用USBケーブル（付属品）で接続

ピクトブリッジ対応プリンター（市販品）

プリンター（市販品）

D P E

FUJICOLOR デジカメプリント

デジタルカメラ プリントサービス 取扱店

手軽に高画質プリントができる
フジカラーデジカメプリントサービス
詳細は http://fujifilm.jp/personal/print/index.html をご覧ください。

* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます（パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html

* 本製品は PRINT Image Matching Ⅱに対応しています。

別売アクセサリー一覧

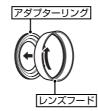
このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式バッテリー NP-50：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。	
バッテリーチャージャー BC-45W：充電式バッテリー NP-50 を充電します。充電時間は約 150 分（+ 20℃において）です（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。	
専用 A/V（音声／映像）ケーブル AV-C1：カメラとテレビを接続できます。	
AC パワーアダプター AC-5VX：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。 このカメラでご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-50 と併用してお使いください。	
DC カプラー CP-50：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプターと併用してお使いください。	
クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20（ISO100·m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能を搭載。バウンス角度は上 90°です。単三電池 2 本を使用します。	
クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42（ISO100·m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24 ～ 105mm（35mm フィルム換算）のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120°です。 単三電池 4 本を使用します。	
レザーケース LC-X10：X10 専用の本革製ケースです。カメラを装着したまま撮影可能な速写ケースタイプです。本革の高級感に加えて、実用性をもたせたケースです。同革素材のショルダーストラップを同梱しています。	

レンズフード LH-X10：X10 専用のアルミニウム製のレンズフードです。同素材のアダプターリングを同梱しています。アダプターリングは市販のフィルター（φ52mm）を装着する時にも使用します。

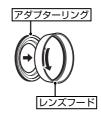
※最新情報については、富士フイルムホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html

レンズフードの取り付け方

1 アダプターリングにレンズフードを取り付けます。
図のように回します。

2 手順 1 で組み立てたレンズフードを、カメラに取り付けます。
図のように回します。

はずしたレンズキャップは、なくさないように保管してください。

市販のフィルターの取り付け方

1 レンズフードからアダプターリングを取り外します。
図のように回します。

2 手順 1 で取り外したアダプターリングを、カメラに取り付けます。
図のように回します。

3 アダプターリングに、市販のフィルターを取り付けます。
詳しくはフィルターの取扱説明書をご確認ください。

- 市販のフィルターは、φ 52mm のものをお使いください。
- はずしたレンズキャップは、なくさないように保管してください。
- 市販のフィルターを、カメラに直接取り付けることはできません。必ずアダプターリングを使用してください。
- フィルターを取り付けたあと、さらにレンズフードを取り付けることもできます。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
●	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
火災・感電の原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。
感電したり、破損部でけがをする原因になります。
- 感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買い上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
バッテリーは極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。
電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

⚠ 警 告

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。

バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

充電器で指定外の電池を充電しない。
ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液もれ、発熱、破裂の原因になります。

バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用してください。

電池を廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。
他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注 意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。

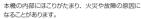
本機や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。
火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。
コンセントにつけたままにしておくと火災の原因となることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。
一時的に視力に影響することがあります。
特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。
本機の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。
- 2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光しないこと。
やけどの危険があります。

フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだまま発光しないこと。
発煙や変色の原因になります。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が 0℃～+ 40℃の範囲で可能です。充電時間については、本文をご参照ください。
  - 充電は+ 10℃～+ 35℃の温度範囲で行ってください。+ 10℃～+ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
  - 0℃以下の温度では充電できません。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が+ 15℃～+ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

！ 危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

2 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池使用機種

※使用可能な電池は取扱説明書をご覧ください。

■取扱い上のご注意

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。

- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、すべてを新しい電池にお取り換えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単３形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単３形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能をお試しください。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  詳しくは、使用説明書本文をご覧ください。

注意　アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

3 両機種（1、2）共通のご注意

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html

■AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。
弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。
AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

お客様は日本国政府または該当国の政府より必要な許可などを得ることなしに「許諾ソフトウエア」の全体または一部を直接または間接に輸出してはなりません。

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合 : きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■商標について

- xD、xD-Picture Card ™、xD-ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windows 7、Windows VistaおよびWindowsロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- SDHCロゴ、SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- HDMIロゴは商標です。
- mixiは株式会社ミクシィの登録商標です。
- YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本機の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード／内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切貼らないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

症状		ここをチェック！	処置	ページ
バッテリー、電源について	ズームリング（電源スイッチ）を 28-112 に合わせても電源がオンになりません。	ズームリング（電源スイッチ）の位置を確認してください。	ズームリング（電源スイッチ）を、もう一度 28-112 の間に合わせてください。	23
		バッテリーが消耗していませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。	16
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	18
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかり閉めてください。	20
		AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか？	AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。	—
	バッテリーの減りが早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	—
		パフォーマンスが **モニターパワーアップ**になっていませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、**パフォーマンス**を **節電**に設定して撮影してください。	120
		EXR AUTO に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	31

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
バッテリー、電源について	バッテリーの減りが早いです。（続き）	**AF モード**を **自動追尾**に設定していませんか？	**自動追尾**で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	99
		フォーカスモードを **AF-C**（コンティニュアス AF）に設定していませんか？	**AF-C**（コンティニュアス AF）で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	54
	使用中に電源がオフになってしまいました。	ズームリング（電源スイッチ）の位置を確認してください。	ズームリング（電源スイッチ）を一度 OFF に合わせてから、28-112 の間に合わせてください。	23
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16
		AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか？	AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。	—

■ メニューなどの設定時

症 状	ここをチェック！	処 置	ページ
メニューが英語で表示されています。	**言語/LANG.** が **ENGLISH** になっていませんか？	言語設定を**日本語**にしてください。	24、113

困ったときは

■ 撮影時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が 0 になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	19、69
		メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	113
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布でふいてください。	19
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	19
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	23
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか？	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	45
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	44
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体（➞ 42 ページ）を撮影しようとしていませんか？	AF/AE ロックを使って撮影してください。	42
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケーターランプが橙色に点灯していませんか？	インジケーターランプが消灯するまでお待ちください。	29

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
EXR AUTO モードについて	指定した画像サイズで保存されません。	**画像サイズ**を AUTO に設定していませんか？	EXR AUTO モードの特徴のひとつです。EXR AUTO モードでは、被写体のシーンに応じて、カメラで最適な画素数や、ISO 感度などを決めます。記録画素数を固定したい場合は、**画像サイズ**を M または S に設定するか、 や **M** モードに設定してください。	31、95
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレイナビが使用できない設定になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	31
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	62
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	27
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	42
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	マクロが使用できない設定になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	31

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
画像の記録について	撮影した画像や動画が記録されません。	カメラの電源が入っているときにACパワーアダプターの接続や取り外しをしませんでしたか？	ACパワーアダプターやDCカプラーの接続および取り外しはカメラの電源が入っていないときに行ってください。メモリーカードの破損、パソコン接続時の誤作動の原因になります。	—
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュ充電中に撮影しませんでしたか？	フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	45
		フラッシュが閉じていませんか？	フラッシュをポップアップしてください。	45
		フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	31
		マクロ撮影の設定が **スーパーマクロ**になってませんか？	設定を変更してください。	44
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16
		連写が設定されていませんか？	連写をオフにしてください。	48
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	29、113
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	31
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	29、113

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	152
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	27
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが 1/1000 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを 1/1000 秒以下に設定してください。	32、33、34
撮影画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	129
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようしてください。	27
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	141
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	45、141
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	23
		温度警告が表示されていませんでしたか？		
光学ファインダー（OVF）について	ぼやけて見える。	視度調節が合っていますか？	ファインダーがくっきり見えるように視度調節を行ってください。	9

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
液晶モニター（LCD）について	液晶モニター（LCD）になにも表示されません。	表示モードが LCD 表示 OFF になっていませんか？	**DISP/BACK** ボタンを押して、表示モードを変更してください。	12

■ 動画時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
動画撮影について	カメラの動作音が気になります。	**AF モード**が **コンティニュアス**に設定されていませんか？	**AF モード**を **センター固定**に設定してください。	101
		顔キレイナビをオンにしていませんか？	顔キレイナビをオフにしてください。	62

■ 再生時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
		640 で保存された画像ではありませんか。	**リサイズ**および **トリミング**を使って 640 で保存された画像は、再生ズームできません。	67

困ったときは

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
動画・ボイスメモ再生について	カメラから音が出ません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	29
		カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	115
		撮影 / 録音中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影 / 録音時はマイクをふさがないでください。	8
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	8
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	106
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカード を交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	23

■ 接続時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	80
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	79
		動画再生中に専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルを接続しませんでしたか？	動画再生をいったん停止させてから接続し直してください。	78、79
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「ビデオ」にしてください。	—
		NTSC/PAL **ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	119
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	—
	テレビの画像が白黒になってしまいました。	NTSC/PAL **ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	119
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	86
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio または FinePixViewer を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	付属のソフトウェア（Windows: MyFinePix Studio、Macintosh: FinePixViewer）を使って、画像を取り込んでください。	81

困ったときは

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	88
		プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	—
	1 枚ずつしかプリントされません。	PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。	—
	日時が印字されません。			
AC パワーアダプター、DC カプラー接続について	デモモード再生開始のメッセージが表示されます。	電源供給時に電源をオンしましたか？	設定した場合スライドショーが再生されます。カメラ操作に戻る場合はシャッターボタンを押してください。	20

■ その他

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリー、AC パワーアダプターや DC カプラーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	18
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。	18
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリー、AC パワーアダプターや DC カプラーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	18、159

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
音について	音がでません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	29
海外での使用について	海外で AC パワーアダプターと DC カプラーを使用したい。	指定の AC パワーアダプターと DC カプラーをご準備ください。	各国に合ったコンセント変換プラグが必要となります。旅行代理店にご相談ください。	122

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
（赤点灯）	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
（赤点滅）	バッテリーの残量がありません。	
!	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF（赤点灯） AF フレームの形は 撮影メニューの設定によって 異なります	ピント合わせができません。	• AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください（→ 42 ページ）。 • 近距離撮影の場合は、 マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード 表示（赤点灯）	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。ただし、適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー **レンズ制御エラー** **電源を入れ直してください**	カメラが誤作動または故障しています。	• 電源を入れ直してください。 • 電源の ON/OFF を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの COPY **画像コピー**を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
!	カメラの温度が上昇しています。そのまま撮影すると、自動的に電源がオフになります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
フォーマットされていません	メモリーカード、または内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカード、または内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→ 113 ページ）。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 113 ページ）。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処 置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 113 ページ）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 113 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
SD 空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
IN 空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源の ON/OFF を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカード、または内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカード、または内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→ 113 ページ）。
プロテクトされたカードです	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください（→ 21 ページ）。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 113 ページ）。
DISP を長押ししてマナーモードを解除してください	マナーモード時に音量を設定しようとしています。	マナーモード時は音量の設定はできません。音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ NO.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ NO. が「100-0001」から付けられます。**コマ NO.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処 置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 113 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	30000 枚以上の画像をピクチャーサーチしようとしました。	30000 枚以上の画像はピクチャーサーチできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしました。	999 枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 • プロテクトされているファイルにボイスメモを付けようとしました。	• プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（→ 106 ページ）。 • プロテクトしたファイルにボイスメモは付けられません。プロテクトを解除してください（→ 106 ページ）。
! ボイス再生できません	ボイスメモファイルに異常があります。	ボイスメモは再生できません。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
SD 画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
IN 画像がありません		
640 トリミングできません	640 の画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	
M 実行できません	M、S、640 の画像を M にリサイズしようとしました。	これらの場合、リサイズはできません。
S 実行できません	S、640 の画像を S にリサイズしようとしました。	
640 実行できません	640 の画像をリサイズしようとしました。	
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。

警告表示	警告内容	処 置
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
実行できません 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	これらの画像、動画は赤目補正できません。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は **MENU/OK** ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？ このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

メモリーカード、内蔵メモリーの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間の枚数は目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。メモリーカードなしでも、数枚程度の試し撮りは可能です。

記録媒体		内蔵メモリー（約26MB）		4GB		8GB	
画質モード		FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	L 4:3	5	8	820	1300	1650	2620
	L 16:9	7	11	1090	1720	2200	3450
	M 4:3	8	16	1310	2530	2640	5080
	M 16:9	11	22	1740	3350	3500	6720
	S 4:3	16	30	2430	4590	4880	9210
	S 16:9	23	35	3540	5160	7110	10370
動画 *4	FULL HD 1920 *1	12秒		38分		76分	
	HD 1280 *1	17秒		49分		98分	
	640 *2	42秒		115分		232分	
	HS 640 × 480（70fps）*3	32秒		85分		112分	
	HS 320 × 240（120fps）*3	65秒		172分		345分	
	HS 320 × 112（200fps）*3	32秒		86分		172分	

*1　連続して記録する場合、約29分で自動的に撮影を停止します。
*2　連続して記録する場合、約115分で自動的に撮影を停止します。
*3　連続して記録する場合、約30秒で自動的に撮影を停止します。
*4　HD動画、ハイスピード動画を撮影するときは、CLASS4 以上のメモリーカードをご使用ください。

温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください（→ 141 ページ）。

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

			EXR				[Camera]	Adv.			P	S	A	M	SP																[Movie]
			EXR AUTO	HR	SN	DR		[Adv. 1]	[Adv. 2]	PANORAMA					[Natural & flash]	[Natural light]	[Portrait]	[Portrait 2]	[Landscape]	[Sport]	[Night]	[Night (tripod)]	[Fireworks]	[Sunset]	[Snow]	[Beach]	[Underwater]	[Party]	[Flower]	TEXT	
[Macro]	OFF			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]			
	[Macro]			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔													✔[1]	✔[1]	
	[Super macro]			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔															
⚡[4]	[Red-eye] OFF	AUTO	✔	✔	✔		✔				✔						✔	✔		✔					✔	✔	✔	✔[1]			
		⚡	✔	✔	✔		✔				✔	✔	✔	✔	✔[1]		✔	✔		✔				✔	✔	✔	✔			✔	
		S⚡		✔	✔						✔		✔				✔	✔			✔	✔									
		[Flash off]	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔		✔[1]	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔		✔[1]	✔	
	[Red-eye] ON	[Red-eye] AUTO	✔	✔	✔		✔				✔						✔	✔							✔	✔	✔	✔[1]			
		[Red-eye] ⚡	✔	✔	✔		✔				✔	✔	✔	✔	✔[1]		✔	✔						✔	✔	✔	✔			✔	
		[Red-eye] SLOW		✔	✔						✔		✔				✔	✔			✔	✔									
		[Flash off]	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔		✔[1]	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔		✔[1]	✔	
[Self-timer]	[10 s] / [2 s]		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
DRIVE	[Continuous]	SH					✔				✔	✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
		H					✔				✔	✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
		M	✔	✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
		[L]	✔	✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[Continuous (final)]		✔	✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[AE BKT]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
	[ISO BKT]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
	[Film simulation BKT]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
	[DR BKT]					✔					✔	✔	✔	✔																	
[Exposure compensation]				✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
[AFL/AEL]				✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	

		EXR					Adv.			P	S	A	M	SP																
		EXR AUTO	HR	SN	DR				PANORAMA					N	N														TEXT	
ISO	AUTO	✔[1]					✔[1]	✔[1]	✔[1]					✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	
	AUTO (3200)			✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔																	
	AUTO (1600)			✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔																	
	AUTO (800)		✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔																	
	AUTO (400)		✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔																	
	12800									✔	✔	✔	✔																	
	6400									✔	✔	✔	✔																	
	5000									✔	✔	✔	✔																	
	4000									✔	✔	✔	✔																	
	3200			✔						✔	✔	✔	✔																	
	2500			✔						✔	✔	✔	✔																	
	2000			✔						✔	✔	✔	✔																	
	1600			✔						✔	✔	✔	✔																	
	1250			✔						✔	✔	✔	✔																	
	1000			✔						✔	✔	✔	✔																	
	800		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
	640		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
	500		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
	400		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
	320		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
	250		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
	200		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
	100		✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
AE[5]		✔[1]	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]
			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	

		EXR					Adv.			P	S	A	M	SP																
		[EXR AUTO]	[HR]	[SN]	[DR]	[camera]	[Adv. 1]	[Adv. 2]	[PANORAMA]					[SP 1]	[SP 2]	[SP 3]	[SP 4]	[SP 5]	[SP 6]	[SP 7]	[SP 8]	[SP 9]	[SP 10]	[SP 11]	[SP 12]	[SP 13]	[SP 14]	[SP 15]	[TEXT]	[movie]
[focus frame icon][6]	[focus icon 1]		✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
	[focus icon 2]	✔[1]	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	
	[focus icon 3]		✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔																	
AF-C		✔[1]	✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
AF-S			✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
MF[7]			✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
WB			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	✔
[image size icon]	AUTO	✔																												
	L		✔			✔				✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	M	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	S	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
[image quality icon]		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
D-Rng	AUTO	✔[1]			✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔		✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	
	DR100		✔[1]	✔[1]	✔					✔	✔	✔	✔																	
	DR200				✔					✔	✔	✔	✔																	
	DR400				✔					✔	✔	✔	✔																	
	DR800				✔																									
	DR1600				✔																									
[film simulation icon]	STD	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	V		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔															✔
	S		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔															✔
	B	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	BY	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	BR	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	BG	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	SEPIA	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
[WB icon]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
Color			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	

		EXR					Adv.			P	S	A	M	SP																
		[EXR AUTO]	[HR]	[SN]	[DR]	[カメラ]	[Adv.1]	[Adv.2]	[PANORAMA]					[N・フラッシュ]	[N]	[人物]	[顔]	[風景]	[スポーツ]	[夜景]	[夜景三脚]	[花火]	[夕焼け]	[雪]	[ビーチ]	[水中]	[パーティー]	[花]	[TEXT]	[動画]
[S]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
[H TONE]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
[S TONE]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
[ノイズ]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
[ズーム]		✔	✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
[カメラ]		✔																												
[顔キレイナビ]		✔[2]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[2]	✔[3]	✔[3]	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔[3]	✔	✔[3]	✔[3]	✔
[マルチ]		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔		✔	✔	✔		✔			
[ ]（動画撮影時）																														✔
[動画]	[FULL HD] 1920																													✔
	[HD] 1280																													✔
	[640]																													✔
	[HS] 640 × 480																													✔
	[HS] 320 × 240																													✔
	[HS] 320 × 112																													✔
[フラッシュ補正]			✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
[フラッシュ]			✔	✔						✔	✔	✔	✔																	
[→C]			✔	✔	✔					✔	✔	✔	✔																	
[手ブレ補正]	[1・動き]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔		✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[1]		✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	[2・動き]		✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔		✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[2]		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	OFF		✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
[AF補助光]		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔	✔
[RAW]		✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	

1 各モードで自動的に設定されます。
2 **ON** に固定されます。
3 **OFF** に固定されます。
4 フラッシュを閉じている場合は、すべての撮影モードでフラッシュは発光禁止になります。
5 [顔] **顔キレイナビ**が **ON** のときは、[マルチ]（マルチ）に固定されます。
6 [顔] **顔キレイナビ**が **ON** のときに顔を検出した場合は、顔にAF が合います。
7 **MF**（マニュアルフォーカス）のときは、[顔] **顔キレイナビ**が **OFF** になります。

資料

主な仕様

システム				
型番	DIGITAL CAMERA X10			
有効画素数	1200 万画素			
撮像素子	2/3 型 EXR CMOS 原色フィルター採用			
記録メディア	• 内蔵メモリー（約 26MB）		• SD/SDHC/SDXC メモリーカード（弊社推奨品）	
記録方式	• **静止画**： DCF 準拠 **圧縮**：Exif Ver.2.3　JPEG 準拠 /DPOF 対応 **非圧縮**：RAW（RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要）、RAW+JPEG 記録あり • **動画**：H.264 規格準拠、ステレオ音声付き（MOV） • **音声**：WAVE 形式、ステレオ			
記録画素数（ピクセル）	• L 4:3（4000 × 3000）	• L 3:2（4000 × 2664）	• L 16:9（4000 × 2248）	• L 1:1（2992 × 2992）
	• M 4:3（2816 × 2112）	• M 3:2（2816 × 1864）	• M 16:9（2816 × 1584）	• M 1:1（2112 × 2112）
	• S 4:3（2048 × 1536）	• S 3:2（2048 × 1360）	• S 16:9（1920 × 1080）	• S 1:1（1536 × 1536）
	• PANORAMA ぐるっとパノラマ 360：（11520 × 1624；縦）、（11520 × 1080；横） • PANORAMA ぐるっとパノラマ 180：（5760 × 1624；縦）、（5760 × 1080；横） • PANORAMA ぐるっとパノラマ 120：（3840 × 1624；縦）、（3840 × 1080；横） • PANORAMA ぐるっとパノラマ 360：（11520 × 1624；縦）、（11520 × 1080；横）			
デジタルズーム	超解像ズーム　約 2 倍（光学 4 倍ズームと併用　最大約 8 倍）			
レンズ	• **名称**：フジノン光学式 4 倍ズームレンズ • **焦点距離**：f=7.1mm ～ 28.4mm（35mm フィルム換算：約 28mm ～約 112mm 相当） • **開放 F 値**：F2.0（広角）～ F2.8（望遠）			
絞り	F2.0 ～ F11（広角）、F2.8 ～ F11（望遠）1/3EV ステップ			
撮影可能範囲 **（レンズ先端面からの距離）**	• **標準**：	［広角］約 50cm ～∞	［望遠］約 80cm ～∞	
	• （マクロ）：	［広角］約 10cm ～約 3m	［望遠］約 50cm ～約 3m	
	• （スーパーマクロ）：	［広角］約 1cm ～約 1m		

システム	
撮影感度 （標準出力感度）	AUTO/AUTO(400)/AUTO(800)/AUTO(1600)/AUTO(3200)、 ISO 100/200/250/320/400/500/640/800/1000/1250/1600/2000/2500/3200/ 4000*1/5000*1/6400*1/12800*2 *1 最大記録画素数 M S、*2 最大記録画素数 S のみ
測光方式	TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ
露出制御	プログラム AE（**P** モード時にプログラムシフト可能）、シャッタースピード優先 AE、絞り優先 AE、 マニュアル
露出補正	− 2EV 〜 +2EV、1/3EV ステップ
シーンポジション	（高感度 2 枚撮り）、（ナチュラルフォト）、（人物）、（美肌）、（風景）、（スポーツ）、 （夜景）、（夜景（三脚））、（花火）、（夕焼け）、（スノー）、（ビーチ）、（水中）、 （パーティー）、（花の接写）、TEXT（文字の撮影）
手ブレ補正機能	光学式（レンズシフト方式）
顔キレイナビ **（顔検出機能）**	あり
シャッタースピード **（メカニカルシャッター併用）**	• **P**、、**Adv.**、、、、、、、、、、、、、、 TEXT：1/4 秒〜 1/4000 秒 • ：1/4 秒〜 1/1000 秒　• ：3 秒〜 1/1000 秒　• ：4 秒〜 1/2 秒 • 全モード合わせて：30 秒〜 1/4000 秒

システム

連写

	選択可能な連写速度（コマ / 秒 [fps]）	記録枚数
（連写）	10、7、5、3	最大 200 コマ（連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります）
（前後撮り連写）	10、7、5、3	最大 16 コマ（RAW / RAW+JPEG：最大 8 コマ）
（AE ブラケティング）	—	設定した設定値で適正、オーバー、アンダーの 3 コマ
（ISO ブラケティング）	—	ISO 感度を変化させた 3 コマ
（フィルムシミュレーションブラケティング）	—	**PROVIA/** スタンダード、**Velvia/** ビビッド、**ASTIA/** ソフトの 3 コマ
（ダイナミックレンジブラケティング）	—	**100%**、**200%**、**400%** の 3 コマ

項目	仕様
フォーカス	・**モード**：シングル AF/ コンティニュアス AF/ マニュアルフォーカス ・**AF 方式**：TTL コントラスト AF ・**AF フレーム選択**：オートエリア / エリア選択 / 自動追尾
ホワイトバランス	シーン自動認識オート / プリセット（晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球 / カスタム / 色温度 / 水中）
セルフタイマー	OFF、2 秒、10 秒
フラッシュ	・**方式**：マニュアルポップアップ方式 ・**撮影可能範囲（ISO：AUTO（800）時）**：［広角］約 30cm ～約 7.0m/［望遠］約 50cm ～約 5.0m
フラッシュ発光モード	・**赤目補正 OFF 時**：AUTO/ 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ ・**赤目補正 ON 時**：赤目軽減 AUTO/ 赤目軽減＋強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減＋スローシンクロ
ファインダー（OVF）	マニュアルズーム連動型実像式光学ファインダー（視野率 約 85%）
液晶モニター（LCD）	2.8 型 カラー液晶モニター、約 46 万ドット（視野率 約 100%）

システム	
動画	・**通常動画**：FULL HD **1920**（1920 × 1080:1080p）30 フレーム / 秒 *、HD **1280**（1280 × 720:720p）30 フレーム / 秒 *、640（640 × 480:VGA）30 フレーム / 秒 * ・**HS 動画**：HS **640 × 480** 70 フレーム / 秒、HS **320 × 240** 120 フレーム / 秒、HS **320 × 112** 200 フレーム / 秒 * 音声付き（ステレオ）

入出力端子	
ビデオ出力	NTSC/PAL 方式（モノラル音声付き）
HDMI 出力	HDMI Mini Connector
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed、MTP/PTP 接続

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-50（付属） * 専用 DC カプラー CP-50（別売）と専用 AC パワーアダプター AC-5VX（別売）を組み合わせて使用可能
バッテリー作動可能枚数の目安	・**バッテリーの種類：NP-50** ・**撮影枚数：約 270 枚** CIPA 規格による。撮影モードは（オート）時、バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 * **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
外形寸法	117.0mm × 69.6mm × 56.8mm（幅 × 高さ × 奥行き）
撮影時質量	約 350g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
質量	約 330g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
動作環境	**温度**：0℃～＋ 40℃ **湿度**：10 ～ 80％（結露しないこと）

バッテリー NP-50	
公称電圧	3.6V
公称容量	1000mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
外形寸法	35.4mm × 40.0mm × 6.6mm（幅 × 高さ × 厚み）
質量	約 18g

バッテリーチャージャー BC-45W	
定格入力	AC 100V ～ 240V　50/60Hz
入力容量	8.0VA（100V）　12VA（240V）
定格出力	DC4.2V　550mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-50
充電時間	約 150 分（+20℃において）
使用温度	0℃～+ 40℃
外形寸法	91mm × 62mm × 23mm（幅 × 高さ × 厚み） * 突起部を除く
質量	約 67g（本体のみ）

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

仕様、性能は、予告なく変更することがあります。変更情報は http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html/ をご覧ください。

使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

索引

資料

［た～な］

［は］

［ま～や］

［ら～わ］

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ

（http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html）、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、ご質問用紙にご記入の上、下記の情報もご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョンまたは CD-ROM のタイトル
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

• あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下･衝撃 、砂･泥かぶり 、冠水･浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合がありま す。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取り扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示に当たりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問い合わせ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】
  インターネット：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  電話：050-3786-1020
  ※受付時間：月～土 9:00 ～ 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ファクス：050-3786-2040
  申し込みに際し、「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急修理サービス（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、60 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- 機種・故障の内容によっては、対応できない場合があります。
- サービスステーション窓口の状況によっては、対応できない場合があります。

- FinePix 特急修理サービスを実施している当社サービスステーションについては、050-3786-1040 に電話するか、当社ホームページ：http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html をご覧ください。
- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金およびその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※ 予め「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。
※ 下表の □ は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号		
お名前		FAX 番号		
ご住所	〒　　　－			
製品名（型名）		ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある 8 桁の番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	NO.	
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード			
□（　　　）	□（　　　）			
□（　　　）	□（　　　）			
見積	□要（修理金額　　　円以上見積り）　・　□不要			
見積連絡方法	□電話　・　□ FAX			
故障症状（故障時の様子）				
ご購入時期	20　　年　　月　　※保証書を添付してください。			
修理履歴	□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）			
発生状況	発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）		
	動作モード	□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると		
	他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　）		
	使用電源			

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL **050-3786-1060** ご利用いただけない場合は **0228-30-2992**

月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00

FAX **050-3786-2060** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ の自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

■ **修理サービスQ&A**　修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html

■ **修理納期検索サービス**　東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp

■ **FinePix修理概算見積サービス**　当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

●修理の受付は…　※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ **修理のご相談受付窓口**

富士フイルム修理サービスセンター TEL **050-3786-1040**
月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00

FAX **050-3786-2040** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ **修理品ご送付受付窓口**

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1／TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも　**【FinePix クイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php　/　TEL：050-3786-1020

▶お近くにサービスステーションがあれば　**【FinePix 特急修理サービス】** 60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※故障の内容によっては、対応できない場合があります。

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の<修理のご相談受付窓口>にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00） TEL 03-5786-1712

Printed in